

千の葉の芸術祭
CHIBA CITY FESTIVAL OF ARTS



実施報告書

2022 年 4 月

千葉市・千の葉の芸術祭実行委員会

目次

1. 開催概要	
名称／キーワード／コンセプト／開催目的（レガシー）／	
会期（本イベント期間）／実施事業／実施エリア／主催／後援／認証マーク	2
／協賛／経緯／ディレクター	
2. 実施内容・作品一覧	
a 写真芸術展「CHIBA FOTO」	5
b 写真芸術展「CHIBA FOTO」その他	7
c 市民参加プログラム「#みんなの CHIBAFOTO」	8
d 体験創造ワークショップ「ななめな学校」	8
e 伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」	12
f 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」	13
g 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」オープニングセレモニー・内覧会	16
3. 来場者数	
a 全体	17
b 写真芸術展「CHIBA FOTO」	17
c 写真芸術展「CHIBA FOTO」トークイベント	19
d 体験創造ワークショップ「ななめな学校」	20
e 伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」	20
f 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」	20
4. 新型コロナウイルス感染症の影響	
定員の制限／広報・プロモーションの制限	21
5. 収支状況	
収支／参加費（ななめな学校ワークショップ）／寄附金・協賛金等	22
6. 運営状況	
実行委員会組織・体制／実行委員会事務局／運営スタッフ	23
7. 広報・プロモーション	
a プレスリリース	24
b 制作物	24
c ウェブサイト・SNS	28
d プロモーション	29
e 各種メディア掲載・報道等	29
f 千葉都市モノレール・京成バス ラッピング広告	30
8. 来場者アンケート	
a 写真芸術展「CHIBA FOTO」	31
b 体験創造ワークショップ「ななめな学校」	36
c 伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」	43
d 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」	45
9. 総括	57

1. 開催概要

a. 名称

千の葉の芸術祭

b. キーワード

変化/CHANGE

c. コンセプト

アートでつながる アートでつなげる 自由なアートが人と社会をかえていく

d. 開催目的（レガシー）

- ・ 市制 100 周年を迎えたことを契機に、本市の「自然や歴史に根差した固有の文化力」と「技術の進展によって生まれた新しい文化力」を市民が再認識できる。
- ・ 文化芸術の間口を広く、敷居を無くし、日常的な活動へと広げる取組」の機会を創出する。

e. 会期（本イベント期間）

2021 年 7 月 24 日（土）～9 月 12 日（日）

f. 実施事業

千の葉の芸術祭は、写真表現に触れることを通して私たちの世界を捉えなおす「写真芸術展」、感じながら考え、創造することについて学ぶ場「体験・創造ワークショップ」、そして伝統とその革新に挑戦的に取り組む「伝統文化と新しい文化の発信」の 3 部門で構成される、千葉市で初めて行われる芸術祭。

写真芸術展「CHIBA FOTO」

会期 展覧会 2021 年 8 月 21 日（土）～9 月 12 日（日）

休館日・開館時間：会場により異なる

ワークショップ 2021 年 6 月 27 日（日）

※荒天により中止

トークイベント 2021 年 8 月 22 日（日）、8 月 29 日（日）、9 月 4 日（土）、9 月 5 日（日）

概要 12 名の作家が制作した、市内撮りおろしやこの土地の歴史・場所の持つ記憶をリサーチしたもの、市民に「いま」見てほしい写真作品を、市内各所に点在する歴史ある建造物や人々が日々行き交う場所に展示した。

会場 千葉市美術館、千葉公園（好日亭・蓮華亭）、千葉市中央コミュニティセンター店舗跡地、そごう千葉店、千葉市中央コミュニティセンター松波分室、旧神谷伝兵衛稲毛別荘、千葉市ゆかりの家・いなげ、千葉市民ギャラリー・いなげ

入場方法 展覧会：無料/当日直接会場へ

ワークショップ・トークイベント：無料/事前申込制

体験・創造ワークショップ「ななめな学校」

会期	2021年6月5日(土)～9月12日(日)
	参加者募集期間 4月16日(金)～4月30日(金)
	ワークショップ(4講座×5～6回) 6月5日(土)～8月15日(日)
	成果発表会 8月8日(日)～9月12日(日)
概要	2016年から本市で実施してきた体験・創造ワークショップ「ななめな学校(※)」。本年は、当芸術祭特別企画として、初めて「連続ワークショップ」を開催し、その成果を発表した。 (※)アーティストやデザイナーといったクリエイターが先生となり、いつもとは違った「ななめな」ものの見方で、さまざまなメディアを使った新しい表現に挑戦する学校。
会場	ワークショップ：千葉市生涯学習センター、千葉市中央コミュニティセンター 成果発表会：千葉市生涯学習センター、千葉市民ギャラリー・いなげ
参加方法	ワークショップ：有料/事前申込制 成果発表会：無料/一部事前申込制
企画運営	千葉市メディア芸術振興実行委員会

伝統文化と新しい文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」「生態系へのジャックイン展」

会期	伝統文化 体験・鑑賞会： 2021年8月6日(金)～7日(土) 11時00分～15時30分 生態系へのジャックイン展： 2021年7月24日(土)～8月8日(日) 18時00分～21時00分(最終入場20時30分) ※台風による休館：7月27日(火) 休館：8月1日(月)
概要	夜の日本庭園を舞台に、現代アートやメディアアート分野で注目を集める新進気鋭の若手アーティストの作品を展示した。 また、期間中2日間の日中は、千葉市文化連盟所属団体による伝統文化の体験・鑑賞会を開催した。
会場	県立幕張海浜公園 日本庭園「見浜園」
参加方法	伝統文化 体験・鑑賞会：無料/事前申込制 生態系へのジャックイン展：無料/事前予約制
企画運営	伝統文化 体験・鑑賞会：千葉市文化連盟加盟団体(千葉市邦楽邦舞文化協会、千葉市茶道華道協会) 生態系へのジャックイン展：一般社団法人METACITY推進協議会

g. 実施エリア

中央区：CHIBA FOTO、ななめな学校

稲毛区：CHIBA FOTO、ななめな学校

美浜区：伝統文化 体験・鑑賞会、生態系へのジャックイン展

h. 主催

千の葉の芸術祭実行委員会

【構成団体】

千葉市、公益財団法人千葉市文化振興財団、公益財団法人千葉市教育振興財団、千葉市文化連盟、公益社団法人千葉市観光協会、千葉市メディア芸術振興事業実行委員会

i. 後援

千葉県、市原市

j. 認証マーク

beyond2020 プロジェクト (認証組織：文化庁等)

「日本博」参画プロジェクト (認証組織：独立行政法人日本芸術文化振興会)

k. 協賛

【特別協賛】

JFE スチール(株)、(株)そごう・西武 そごう千葉店、キャノンマーケティングジャパン (株)

【協賛】

(株)千葉ステーションビル、(株)千葉銀行、千葉商工会議所、(株)京成エージェンシー、
千葉都市モノレール(株)、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、千葉信用金庫、(株)幕張メッセ

l. 経緯

当初 2020 年開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大、東京 2020 オリンピック・パラリンピック
競技大会の延期等の状況を踏まえ、2021 年へ延期。

※2020 年 1 月に体験・創造ワークショップ「ななめな学校」プレイベントのみ実施。

m. ディレクター

総合ディレクター : 神野 真吾 (千葉大学 教育学部 芸術学研究室 准教授)

ディレクター : 粟生田 弓 (日本写真史研究家)

アートディレクター : おおうち おさむ (グラフィックデザイナー)

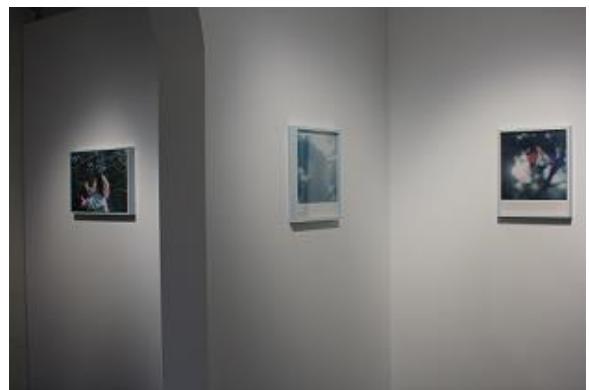
2. 実施内容・作品一覧

a. 写真芸術展「CHIBA FOTO」

No.	作家	展覧会	会場	開館時間
1	宇佐美雅浩	宇佐美正夫 千葉 2021	そごう千葉店 9階 滝の広場	10時00分～19時00分 ※最終日のみ17時00分まで
2	川内倫子	as it is	千葉市中央コミュニティセンター 松波分室	9時00分～17時00分 ※休館：8月30日
3	清水裕貴	コールドスリープ	千葉市中央コミュニティセンター 2階店舗跡地 そごう千葉店 海側南エレベーター	9時00分～17時00分 店舗営業時間に準ずる
4	新井卓	汀にて	好日亭（千葉公園）	9時00分～17時00分
5	吉田志穂	空白と考古学	蓮華亭（千葉公園）	9時00分～17時00分
6	蔵真墨	千の葉のひとつと	千葉市美術館 1階 さや堂ホール	10時00分～18時00分 ※休館：9月6日
7	佐藤信太郎	Geography / Boundaries	千葉市美術館 1階 さや堂ホール	10時00分～18時00分 ※休館：9月6日
8	本城直季	地域と学校	千葉市美術館 9階 市民ギャラリー	10時00分～18時00分 ※休館：9月6日
9	北井一夫	写真集の裏側	千葉市美術館 11階 講堂	10時00分～18時00分 ※休館：9月6日
10	檜橋朝子	Sea Side Line	千葉市ゆかりの家・いなげ	9時00分～16時30分 ※休館：8月23日、8月30日、9月6日
11	金川晋吾	他人の記録	旧神谷伝兵衛稲毛別荘 地下1階・1階	9時00分～17時15分 ※休館：8月23日、8月30日、9月6日
12	横湯久美	時間 家の中で 家の外で	旧神谷伝兵衛稲毛別荘 2階	9時00分～17時15分 ※休館：8月23日、8月30日、9月6日
13		海の記憶を伝える 稲毛アーカイブ展	千葉市民ギャラリー・いなげ	9時00分～17時15分 ※休館：8月23日、8月30日、9月6日



宇佐美雅浩／そごう千葉店 9階 滝の広場



川内倫子／中央コミュニティセンター松波分室



清水裕貴／中央コミュニティセンター2階店舗跡地



清水裕貴／そごう千葉店 海側南エレベーター



新井卓／好日亭（千葉公園）



吉田志穂／蓮華亭（千葉公園）



蔵真墨／千葉市美術館1階 さや堂ホール



佐藤信太郎／千葉市美術館1階 さや堂ホール



本城直季／千葉市美術館9階 市民ギャラリー



北井一夫／千葉市美術館11階講堂



檜橋朝子／千葉市ゆかりの家・いなげ



金川晋吾／旧神谷伝兵衛稲毛別荘



横湯久美／旧神谷伝兵衛稲毛別荘



海の記憶を伝える 稲毛アーカイブ展／ギャラリー・いなげ

b. 写真芸術展「CHIBA FOTO」その他

■参加アーティストによるワークショップ

内容	日程	会場
本城直季さんの写真に写ってみよう	5月30日(日) ※まん延防止等重点措置に伴う延期	千葉みなと港湾緑地
出展作家である本城直季氏の作品に、被写体として参加するワークショップ。	6月27日(日)【延期後】 ※荒天により中止	

■トークイベント

内容	出演者	日程	会場
海の記憶を伝える 稲毛アーカイブ展ができるまで	増田 瞳 (市民ギャラリー・いなげ学芸員) 行木弥生 (元市民ギャラリー・いなげ学芸員)	8月22日(日) 11時00分～12時00分 8月22日(日)、9月4日(土) 14時00分～15時00分	千葉市民ギャラリー・いなげ
千葉市でアートの世界に目を向けた4人の話	宇佐美雅浩、横湯久美、おおうちおさむ、神野真吾	8月29日(日) 14時00分～15時30分	そごう千葉店2階 パルパティオ
千の葉の芸術祭と千葉市美術館	山梨絵美子 (市美術館館長)、山根佳奈 (市美術館学芸員)、神野真吾	9月4日(土) 14時00分～15時30分	千葉市美術館5階 ワークショップルーム
被写体と出会うとき 〈人〉・〈風景〉	蔵真墨、佐藤信太郎、神野真吾	9月5日(日) 14時00分～15時30分	千葉市美術館5階 ワークショップルーム



市民ギャラリー・いなげ



8月29日/そごう千葉店



9月4日/千葉市美術館



9月5日/千葉市美術館

c. 市民参加プログラム「#みんなのCHIBAFOTO」

概要	Instagram アカウントへ写真を投稿してもらう参加型プログラム
参加方法	①千の葉の芸術祭公式 Instagram アカウントをフォロー ②CHIBA FOTO で作品を鑑賞して感じた、周囲や自分自身の変化への気づきを写真に撮影 ③ハッシュタグ「#みんなのCHIBAFOTO」をつけて投稿
募集期間	8月21日(土)～9月12日(日) (写真芸術展「CHIBA FOTO」会期中)
投稿数	172件
賞品	参加者の中から抽選で5名に賞品をプレゼント 賞品：「アソビカメラ Canon iNSPiC REC」(キヤノンマーケティングジャパン(株)ご協賛品)

d. 体験・創造ワークショップ「ななめな学校」

■プレイベント (2019年度)

内容	講師	日程	会場
授業1			
ダンボール社会学—— ものの見方。発想のジャンプ!	織咲誠	1月11日(土)・1月12日(日) 10時00分～12時30分	生涯学習センター 研修室1
授業2			
透明な”何か”をつくろう	地村洋平	14時00分～16時30分	生涯学習センター 研修室3

内容	講師	日程	会場
授業3 空想地図をつくろう	今和泉隆行		生涯学習センター 研修室2
授業4 古材を使って楽しい オブジェをつくろう	今井茂淑	1月11日(土)・1月12日(日) 10時00分～12時30分 14時00分～16時30分	生涯学習センター 工芸研修室
授業5 口だけで奏でる音楽 ヒューマンビートボックス	KAIRI		生涯学習センター 特別会議室
大人 香りを紡ぐ	HELLO GARDEN	1月11日(土)・1月12日(日) 10時00分～12時00分 14時00分～16時00分	生涯学習センター 小会議室

■本イベント・ワークショップ (2021年度)

内容	講師	日程	授業内容	会場
授業1 衣装をつくって仮装パレ ードをしよう!	子ども創造室	6月5日(土) 6月19日(土) 7月3日(土) 7月17日(土) 7月31日(土) 13時30分～16時30分	観察する キャラクターをつくる 衣装をつくる1 衣装をつくる2 パレードを演出する	生涯学習センター 工芸研修室
授業2 えんげき作品をつくる	関美能留	6月5日(土) 6月19日(土) 7月3日(土) 7月17日(土) 7月31日(土) 13時30分～16時30分	演劇を使って、遊びながらの 自己紹介と関係作り 学校の授業を演劇作品にす る 国語/算数/理科/社会 学校の授業を演劇作品にす る 図工/体育/音楽 授業外の学校生活を演劇作品に する 休み時間/給食/放課後 今までやったことを復習し ながらひとつの作品にする	生涯学習センター 研修室1
授業3 五感を使って映画をつく ろう!	吉開菜央	6月5日(土) 6月26日(土) 7月17日(土) 7月25日(日) 7月31日(土) 8月14日(土) 13時30分～16時30分	身体を動かす/吉開菜央作品紹介 撮影をする 効果音をつくる・録音をする 編集をする 映画をつくる 作品のブラッシュアップ(追加)	6/5・7/17・7/25: 生涯学習センター 研修室2 6/26・7/31: 中央コミュニティセ ンター 講習室2 8/14:ビデオ会議

内容	講師	日程	授業内容	会場
授業4 夏への扉 日記をつける、 写真をとる	金川真吾	6月5日(土)	顔合わせ	生涯学習センター 研修室3
		6月19日(土)	日記をつける、写真をとる	
		7月3日(土)	日記と写真の関係を考える	
		7月17日(土)	日記に写真をつける	
		7月31日(土)	整える、まとめる	
		8月15日(日)	展示会の最終調整(追加)	
		13時30分～16時30分		

■本イベント・成果発表会 (2021年度)

内容	出演者等	日程	会場
授業1 仮装パレード	子ども創造室	8月8日(日) 10時30分～11時30分	千葉公園 (雨天中止) 生涯学習センター 小ホール
授業2 演劇発表会	関美能留	8月8日(日) 13時00分開演	生涯学習センター ホール
授業3 上映会	吉開菜央	8月21日(土) 14時00分～16時00分	生涯学習センター 小ホール
授業4 日記と写真展示	金川真吾	8月28日(土)～9月12日(日) 9時00分～17時15分	市民ギャラリー・いなげ
授業4 ギャラリートーク	金川晋吾 WS参加者	8月28日(土) 17時30分～19時00分	市民ギャラリー・いなげ

■特別公演プログラム (2021年度)

内容	出演者	日程	会場
特別公演プログラム 三条会公演「楽屋－流れ去るものはやがてなつかしき」	三条会	8月8日(日) 16時00分開演	生涯学習センター ホール



授業1 ワークショップ



授業1 成果発表会



授業2 ワークショップ



授業2 成果発表会



授業3 ワークショップ



授業3 成果発表会



授業4 ワークショップ



授業4 成果発表会



ギャラリートーク



特別公演

d. 伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」

■邦楽演奏会

出演者	千葉市邦楽邦舞文化協会 8月6日(金)：【箏】朝香麻美子、【長唄三味線】杵家弥江宏、杵家弥宏慶、【鼓】望月太左衛 8月7日(土)：【箏・三絃】山崎忍、【琵琶】徳将城
日程	8月6日(金)～8月7日(土) 11時00分～11時40分／13時30分～14時10分
会場	県立幕張海浜公園 日本庭園「見浜園」立礼席

■いけばな体験

講師	千葉市茶道華道協会
日程	8月6日(金)～8月7日(土) 12時00分～13時00分／14時30分～15時30分
会場	県立幕張海浜公園 日本庭園「見浜園」パークセンター



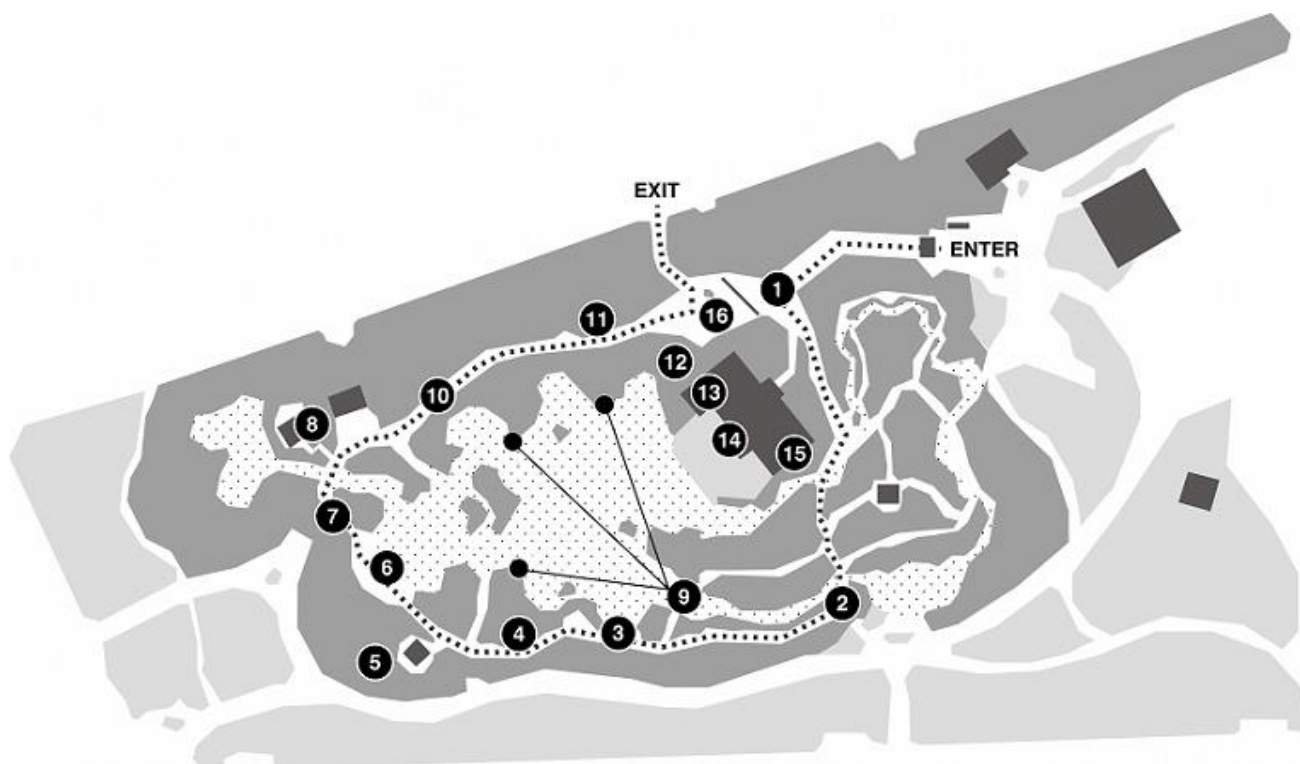
邦楽演奏会



いけばな体験

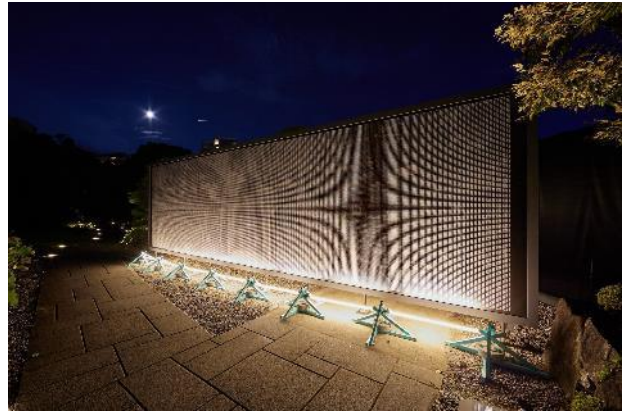
e. 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」

No.	アーティスト	作品
1	The TEA-ROOM	SOTOROJI #1
2	齋藤帆奈	Unpredictable Filtration
3	田中浩也研究室 + METACITY	Bio Sculpture
4	滝戸ドリタ	もし植物に筋肉があったなら。
5	後藤映則	Rediscovery of anima
6	ノガミカツキ	Image Cemetery
7	Dead Channel JP	Makuhari City Authentic History
8	石川将也	Layers of Light
9	松田将英	Ripples
10	関野らん	Individuality,continuity,and wholeness
11	ALTERNATIVE MACHINE	ANK-01
12	The TEA-ROOM	UCHIROJI #0
13	The TEA-ROOM	Hello,Error! #1
14	Ray Kunimoto	SHIZUKU-SHIRO#1,#2,#3
15	田中堅大	Fictional Soundscapes
16	多層都市「幕張市」	New Rousseau Machine





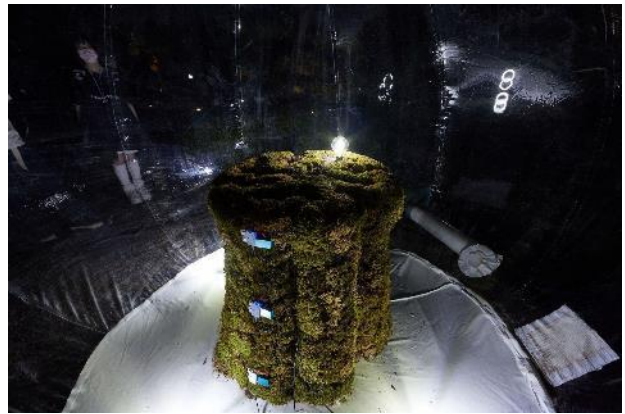
エントランス



SOTOROJI #1 / The TEA-ROOM



Unpredictable Filtration / 齋藤帆奈



Bio Sculpture / 田中浩也研究室 + METACITY



もし植物に筋肉があったなら。 / 滝戸ドリタ



Rediscovery of anima / 後藤映則



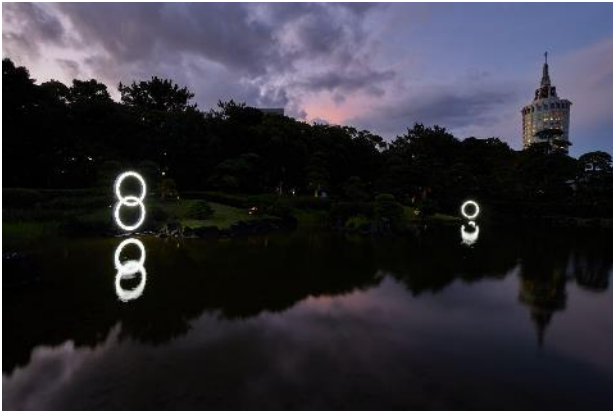
Image Cemetery / ノガミカツキ



Makuhari City Authentic History / Dead Channel JP



Layers of Light / 石川将也



Ripples / 松田将英



Individuality,continuity,and wholeness / 関野らん



ANK-01 / ALTERNATIVE MACHINE



UCHIROJI #0 / The TEA-ROOM



Hello,Error! #1 / The TEA-ROOM



SHIZUKU-SHIRO#1,#2,#3 / Ray Kunimoto



Fictional Soundscapes / 田中堅大



New Rousseau Machine / 多層都市「幕張市」



出口

f. 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」オープニングセレモニー・内覧会

日時	7月23日(金)
会場	県立幕張海浜公園 日本庭園「見浜園」
参加者	48名(議員、行政関係、実行委員、一部協賛企業、メディア、アーティストなどの招待者)
備考	オープニングセレモニー終了後、内覧会を実施



3. 来場者数（単位：人）

a. 全体 20,890 人

体験・創造ワークショップ「ななめな学校」プレイベントのみ、開催延期前の2019年度に実施。

その他は2021年度実施。

	内容	合計
写真芸術展 「CHIBA FOTO」	展覧会	15,722
	トークイベント	66
	ワークショップ（プレイベント）	404
	ワークショップ	36
体験・創造ワークショップ 「ななめな学校」	成果発表	992
	特別公演	86
	ギャラリートーク	15
	邦楽演奏会	18
伝統文化の発信 「伝統文化 体験・鑑賞会」	いけばな体験	13
	内覧会	96
新しい文化の発信 「生態系へのジャックイン展」	展覧会	3,442
	合計	20,890

b. 写真芸術展「CHIBA FOTO」

作家名	会場	会期	8月21日(土)	8月22日(日)	8月23日(月)	8月24日(火)	8月25日(水)	8月26日(木)	8月27日(金)
宇佐美 雅浩	そごう千葉店 9階 滝の広場	23	147	96	56	66	68	69	91
川内 倫子	中央コミュニティセン ター松波分室	22	16	25	1	14	14	5	9
清水 裕貴	中央コミュニティセン ター2階店舗跡地	23	28	19	11	15	8	9	14
新井 卓	好日亭/千葉公園	23	46	42	8	12	8	6	16
吉田 志穂	蓮華亭/千葉公園	23	161	137	56	61	55	54	47
蔵 真墨	千葉市美術館	22	153	116	40	73	81	62	86
佐藤 信太郎	1階 さや堂ホール								
本城 直季	千葉市美術館 9階 市民ギャラリー	22	82	43	17	33	31	22	29
北井 一夫	千葉市美術館 11階 講堂	22	100	46	19	32	28	27	25
檜橋 朝子	ゆかりの家・いなげ	20	49	29		17	14	14	10
金川 晋吾	旧神谷伝兵衛稲毛別荘 B1階・1階・2階	20	152	172	施設 休館日	84	50	64	60
横湯 久美									
アーカイブ展	市民ギャラリーいなげ	20	80	112		36	39	27	26
合計			1,014	837	208	443	396	359	413

作家名	会場	会期	8月28日(土)	8月29日(日)	8月30日(月)	8月31日(火)	9月1日(水)	9月2日(木)	9月3日(金)
宇佐美 雅浩	そごう千葉店 9階 滝の広場	23	169	159	49	53	66	49	59
川内 倫子	中央コミュニティセン ター松波分室	22	40	53	施設 休館日		21	16	7
清水 裕貴	中央コミュニティセン ター2階店舗跡地	23	15	21	7	14	16	8	17
新井 卓	好日亭/千葉公園	23	46	36	4	17	11	4	14
吉田 志穂	蓮華亭/千葉公園	23	127	109	27	63	42	6	19
蔵 真墨	千葉市美術館	22	142	143	53	73	59	51	65
佐藤 信太郎	1階 さや堂ホール								
本城 直季	千葉市美術館 9階 市民ギャラリー	22	64	76	21	23	29	14	23
北井 一夫	千葉市美術館 11階 講堂	22	74	72	21	23	27	18	30
檜橋 朝子	ゆかりの家・いなげ	20	44	52			13	10	10
金川 晋吾	旧神谷伝兵衛稲毛別荘	20	144	208	施設 休館日		48	48	38
横湯 久美	B1階・1階・2階								
アーカイブ展	市民ギャラリーいなげ	20	77	100			26	27	18
合計			942	1,029	182	374	351	223	309

作家名	会場	会期	9月4日(土)	9月5日(日)	9月6日(月)	9月7日(火)	9月8日(水)	9月9日(木)	9月10日(金)
宇佐美 雅浩	そごう千葉店 9階 滝の広場	23	148	124	37	46	85	60	92
川内 倫子	中央コミュニティセン ター松波分室	22	43	57	10	27	29	20	58
清水 裕貴	中央コミュニティセン ター2階店舗跡地	23	17	33	18	22	22	16	41
新井 卓	好日亭/千葉公園	23	31	50	3	38	59	27	55
吉田 志穂	蓮華亭/千葉公園	23	88	104	27	107	96	36	96
蔵 真墨	千葉市美術館	22	174	229			119	103	98
佐藤 信太郎	1階 さや堂ホール								
本城 直季	千葉市美術館 9階 市民ギャラリー	22	82	97			37	41	44
北井 一夫	千葉市美術館 11階 講堂	22	94	88	施設 休館日		67	48	52
檜橋 朝子	ゆかりの家・いなげ	20	48	51			40	36	23
金川 晋吾	旧神谷伝兵衛稲毛別荘	20	152	128			146	112	54
横湯 久美	B1階・1階・2階								
アーカイブ展	市民ギャラリーいなげ	20	72	69			59	48	26
合計			949	1,030	95	708	679	456	937

作家名	会場	会期	9月11日(土)	9月12日(日)	合計	人/日計
宇佐美 雅浩	そごう千葉店 9階 滝の広場	23	173	222	2,184	95
川内 倫子	中央コミュニティセン ター松波分室	22	104	135	720	33
清水 裕貴	中央コミュニティセン ター2階店舗跡地	23	55	86	512	22
新井 卓	好日亭/千葉公園	23	81	149	763	33
吉田 志穂	蓮華亭/千葉公園	23	191	203	1,912	83
蔵 真墨 佐藤 信太郎	千葉市美術館 1階 さや堂ホール	22	289	346	2,683	122
本城 直季	千葉市美術館 9階 市民ギャラリー	22	189	201	1,269	58
北井 一夫	千葉市美術館 11階 講堂	22	171	195	1,335	61
檜橋 朝子	ゆかりの家・いなげ	20	88	100	714	36
金川 晋吾 横湯 久美	旧神谷伝兵衛稲毛別荘 B1階・1階・2階	20	250	282	2,404	120
アーカイブ展	市民ギャラリー・いなげ	20	130	148	1,226	61
合計			1,721	2,067	15,722	724

c. 写真芸術展「CHIBA FOTO」トークイベント

日程	会場	合計
8月22日(日)	市民ギャラリー・いなげ	10
8月29日(日)	そごう千葉店	18
9月4日(土)	市民ギャラリー・いなげ	5
9月4日(土)	千葉市美術館	15
9月5日(日)	千葉市美術館	18
合計		66

d. 体験・創造ワークショップ「ななめな学校」

	授業名	WS参加者	一般	合計
ワークショップ (プレイベント)	授業 1	41	-	41
	授業 2	88	-	88
	授業 3	92	-	92
	授業 4	78	-	78
	授業 5	52	-	52
	大人	53	-	53
ワークショップ	授業 1	10	-	10
	授業 2	10	-	10
	授業 3	7	-	7
	授業 4	9	-	9
成果発表会	授業 1	10	29	39
	授業 2	10	46	56
	授業 3	7	19	26
	授業 4	-	871	871
特別公演	三条会	-	86	86
ギャラリートーク		7	8	15
合計		474	1,059	1,533

e. 伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」

	8月6日(金)	8月7日(土)	合計
邦楽演奏会	9	9	18
いけばな体験	6	7	13
合計	15	16	31

f. 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」

7月24日(土)	7月25日(日)	7月26日(月)	7月27日(火)	7月28日(水)	7月29日(木)	7月30日(金)	7月31日(土)	8月1日(日)
179	170	51	台風による 休館	116	136	170	300	293
8月2日(月)	8月3日(火)	8月4日(水)	8月5日(木)	8月6日(金)	8月7日(土)	8月8日(日)	合計	人/日計
休館	321	302	316	359	339	390	3,442	246

4. 新型コロナウイルス感染症の影響

a. 定員の制限

内容	延期前 想定定員 (収容人数等)	延期後 募集定員	増減	備考
CHIBA FOTO (トークイベント)				
8/22AMギャラリー	20	10	50.0%	
8/22PMギャラリー	20	10	50.0%	
8/29そごう	60	20	33.3%	
9/4AMギャラリー	20	10	50.0%	
9/4PMギャラリー	20	10	50.0%	
9/4千葉市美術館	120	40	33.3%	
9/5千葉市美術館	120	40	33.3%	
ななめな学校				
授業1 WS	25	10	40.0%	
授業2 WS	30	10	33.3%	
授業3 WS	30	10	33.3%	
授業4 WS	30	10	33.3%	
授業2 成果発表会	300	70	23.3%	(一般40、保護者30)
授業3 成果発表会	80	40	50.0%	(一般30、保護者10)
特別公演	300	100	33.3%	
伝統文化 体験・鑑賞会				
邦楽演奏会	198	20	10.1%	4団体による事業を計画していたが、2団体減及び定員減
いけばな体験		20		
生態系へのジャックイン展				
展覧会	120	90	75.0%	30分あたりの最大入場数
合計	1,493	520	34.8%	

b. 広報・プロモーションの制限

- ・ プレスリリースの自粛、縮小
- ・ 県内外への広報物配布の自粛
- ・ 県外からの来場自粛のお願い (WEB等掲載)
- ・ 市民参加プログラムとしてのピールオフ広告、制作ワークショップ等
- ・ CHIBA FOTO ガイドマップ上のスタンプラリー施策
- ・ CHIBA FOTO プレス向けバスツアー
- ・ のぼり旗掲出数及び範囲の縮小

5. 収支状況

a. 収支

■収入

項目	2019	2020	2021	合計
負担金	24,444,045	69,741,267	75,141,992	169,327,304
事業収入（ななめな学校参加費）	377,500	0	117,000	494,500
協賛金	0	150,000	100,000	250,000
諸収入（利息）	0	109	236	345
合計	24,821,545	69,891,376	75,359,228	170,072,149

■支出

項目	2019	2020	2021	合計
写真芸術展「CHIBA FOTO」	9,645,000	18,070,000	51,732,741	79,447,741
体験・創造ワークショップ「ななめな学校」	4,205,555	6,300,000	3,138,121	13,643,676
伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」	0	0	417,470	417,470
新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」	0	27,327,500	8,565,960	35,893,460
広報・プロモーション	9,900,000	17,056,308	9,428,100	36,384,408
事務局運営	1,070,990	1,137,568	2,076,836	4,285,394
合計	24,821,545	69,891,376	75,359,228	170,072,149

b. 参加費（ななめな学校ワークショップ）

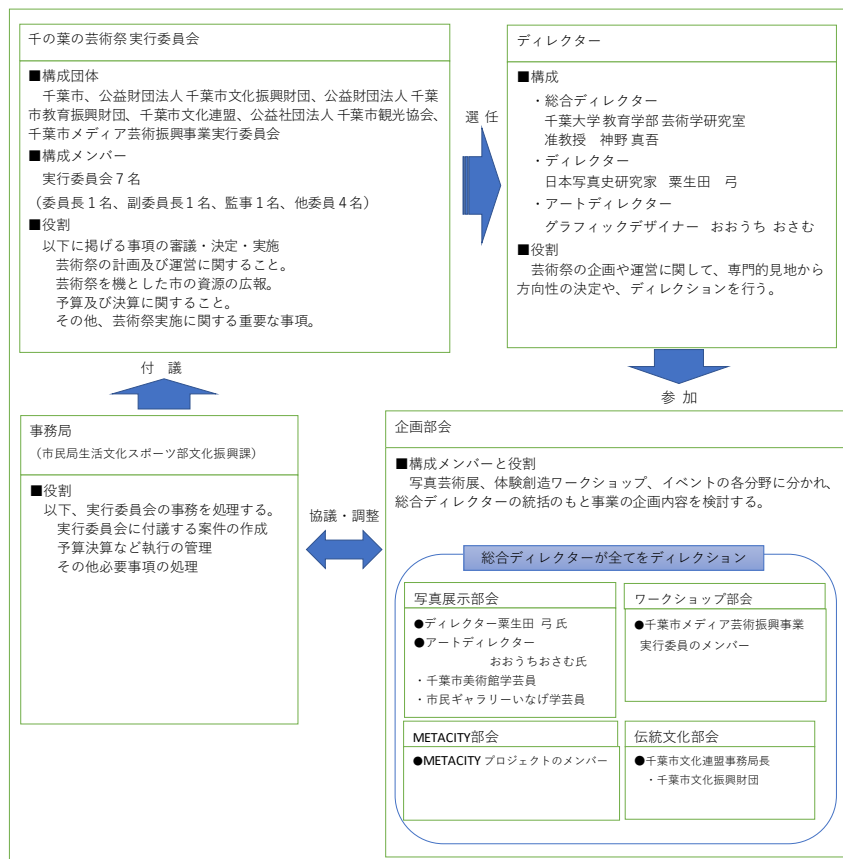
項目	内訳	金額
2019年度 プレイベント	子ども：1,000円×351人	377,500
	大人：500円×53人	
2021年度 本イベント	3,000円×39人	117,000
合計		494,500

c. 寄附金・協賛金等

項目	件数	金額
現金協賛	4	250,000
千葉県ふるさと応援寄附金 （使用目的を千の葉の芸術祭とした寄附）	2	150,000
現物協賛（現金として換算）		
広告掲出、飲料水提供、撮影協力、プロジェクター貸与、 市民参加プログラム賞品提供	7	2,755,500
合計	13	3,155,500

6. 運営状況

a. 実行委員会組織・体制



b. 実行委員会事務局

実行委員会事務局は、千葉市市民局生活文化スポーツ部文化振興課が担い、芸術祭全体を統括運営。

c. 運営スタッフ

来場者の案内や会場の整備などは、下記のとおり長期間の運営にあたった。

区別	参加人数 (延べ人数)
1 市職員	199
2 学生インターンスタッフ	18
3 外部委託スタッフ	606
合計	823

部門	会場	区別
1 CHIBA FOTO	そごう、松波分室、好日亭、蓮華亭、神谷伝兵衛	外部委託スタッフ
2 CHIBA FOTO	中央 CC2 階店舗跡地、ゆかりの家	市職員、学生インターンスタッフ
3 CHIBA FOTO	美術館	市職員、外部委託スタッフ
5 ななめな学校	生涯学習センター他	企画運営者
6 伝統文化 体験・鑑賞会	見浜園	市職員
7 生態系へのジャックイン展	見浜園	市職員、企画運営者

7. 広報・プロモーション

a. プレスリリース

日程	内容	方法
2019年7月3日	「千の葉の芸術祭」開催概要	市政記者資料配布
2019年11月22日	「基本計画書」策定	市政記者レクチャー
2020年1月7日	プレイベント「ななめな学校」開校のお知らせ	市長定例記者会見（お知らせ）
2020年4月16日	「千の葉の芸術祭」開催延期	市政記者情報提供
2020年5月28日	モノレールラッピング運行開始 （千葉市美術館リニューアルオープン）	市長定例記者会見
2021年3月23日	ななめな学校WS参加者募集及び モノレール・バスラッピング運行開始	市政記者資料配布
2021年3月29日	「実施計画書 Ver.1」策定	市政記者資料配布
2021年3月29日	「千の葉の芸術祭」開催決定	PR TIMES 掲載
2021年6月24日	「実施計画書（最終版）」策定	市長定例記者会見（お知らせ）
2021年7月23日	「生態系へのジャックイン展」内覧会案内	市政記者情報提供
2021年8月20日	「CHIBA FOTO」開催告知	PR TIMES 掲載

b. 制作物

制作物	部数
■千の葉の芸術祭	
ティザーチラシ（A4）	32,800部
ティザーポスター（B2）	760部
本告知チラシ（A4）	22,050部
本告知ポスター（B2）	820部
のぼり旗	80セット
協賛ボード	2部
■写真芸術展「CHIBA FOTO」	
ガイドマップ（A4三つ折り）	30,000部
ポスター（B1）	540部
作家ポスター13種	24部
会場周辺用印刷物	
ポスター（そごう千葉店用）	1式
ポスター（松波分室、蓮華亭、市民ギャラリー）	1式
千葉市美術館用ツール（フロア看板シール、館内看板パネル）	1式
布バナー（美術館、蓮華亭、ゆかりの家）	各1枚
のれん（好日亭）	1枚
スタッフパス（STAFF/PRESS）	各100枚
■体験・創造ワークショップ「ななめな学校」	
チラシ（B5変形）	39,000部

■伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」

チラシ (A4)

300 部

■新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」

リーフレット (A4 二つ折り)

25,000 部

ポスター (B2)

300 部

ポスター24 種 (B2)

96 部



ティザーチラシ (表面)



本告知チラシ (表面)



のぼり旗



(裏面)



(裏面)



ティザーポスター



本告知ポスター



CHIBA FOTO 作家ポスター13 種



CHIBA FOTO ガイドマップ (裏面)



(裏面)



CHIBA FOTO 千葉市美術館用ツール



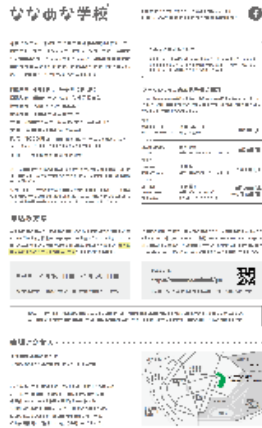
CHIBA FOTO のれん(好日亭)



CHIBA FOTO スタッフパス (STAFF/PRESS)



ななめな学校パネル



ななめな学校チラシ (表面)



(裏面)



伝統文化 体験・鑑賞会チラシ (表面)



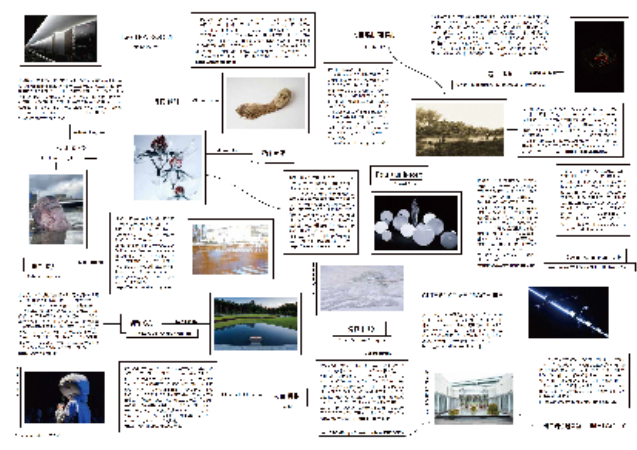
(裏面)



生態系へのジャックイン展ポスター



生態系へのジャックイン展リーフレット (表面)



(裏面)

c. WEB・SNS (Twitter、Instagram、Facebook、note)

※各開設日から11月1日現在の実績

WEB			
セッション総数 (訪問数)	28,608		
ページビュー数 (総閲覧数)	51,296		
ユーザー総数	17,745		
主なアクセスユーザー言語	日本語圏 91.0%、英語圏 5.8%、中国語圏 2.1%		
Twitter		Instagram	
フォロワー数	280	フォロワー数	252
投稿数	112	投稿数	29
インプレッション数	164,869	インプレッション数	12,219
リンクのクリック数	880	リーチアカウント数	1,420
リツイート数	241	いいね数	511
いいね数	451	コメント数	5
返信ツイート数	26	保存数	61
Facebook (Instagram と連動)		note	
投稿数	25	公開記事数	12
リーチアカウント数	51	全体ビュー数	14,447
いいね数	10	スキ (いいね) 数	232



WEB



Facebook



Twitter



note



Instagram

d. プロモーション

場所	媒体	掲出期間
■千の葉の芸術祭（ティザー）		
千葉都市モノレール駅構内（千葉駅、千葉みなと駅、市役所前駅、千葉公園駅、葭川公園駅）	ポスター	4月1日～6月30日
■写真芸術展「CHIBA FOTO」		
JR 中央総武線各停、京葉線 窓上	ポスター	8月1日～8月31日
千葉都市モノレール駅構内（千葉駅、千葉みなと駅、都賀駅、市役所前駅、千葉公園駅、葭川公園駅） ／車内ドア上・窓上	ポスター	8月13日～9月12日
JR 千葉駅ビジョン	デジタルサイネージ	8月9日～8月31日
シティスケープ	ポスター	8月16日～8月29日
JR 千葉駅・西千葉駅、京成千葉駅	ポスター	8月20日～9月9日
■新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」		
JR 海浜幕張駅ビジョン	デジタルサイネージ	7月1日～7月31日
新聞折込（幕張・幕張新都心地域）	リーフレット	7月10日
千葉都市モノレール駅構内（千葉駅、千葉みなと駅）	ポスター	7月19日～8月8日
JR 海浜幕張駅	ポスター	7月19日～8月8日
イオンチャンネルアド	デジタルサイネージ	7月19日～8月25日
JR 千葉駅ビジョン	デジタルサイネージ	8月1日～8月8日

e. 各種メディア掲載・報道等

合計 93 件

カテゴリ	件数	媒体名
TV	2 件	J:COM（千葉つながるニュース）、ザ・サンデー千葉市
新聞	1 件	千葉日報
雑誌	3 件	Ozmagazine、月刊ぐるっと千葉、月刊誌「旅行読売」
ラジオ	1 件	bayfm「BAY MORNING GLORY」
WEB	74 件	CINRA.NET、美術手帖、Yahoo!ニュース、千葉市観光ガイド、ぴあエンタメ情報、livedoor NEWS、Tokyo Art Beat、MSN ニュース、ORICON NEWS、WIRED、TRILL、LINE NEWS、千葉経済新聞、Fashion Press 他
その他	12 件	千葉市市政だより、ちいき新聞、ちばアート祭 2021 チラシ、千葉商工会議所会報誌「夢シティちば」、千葉銀行社内報「ちばぎん」 他

f. 千葉都市モノレール・京成バス ラッピング広告

千葉都市モノレール



市の資源の発信として、千葉市美術館が世界に誇る
浮世絵コレクションをデザイン

運行期間：2020年6月24日（水）～12月31日（木）

デザイン：川添英昭氏



千の葉の芸術祭デザイン

運行期間：2021年3月26日（金）～9月30日（木）

デザイン：おおうちおさむ氏

京成バス（連節バス）



千の葉の芸術祭デザイン

運行期間：2021年5月1日（土）～9月12日（日）

デザイン：おおうちおさむ氏

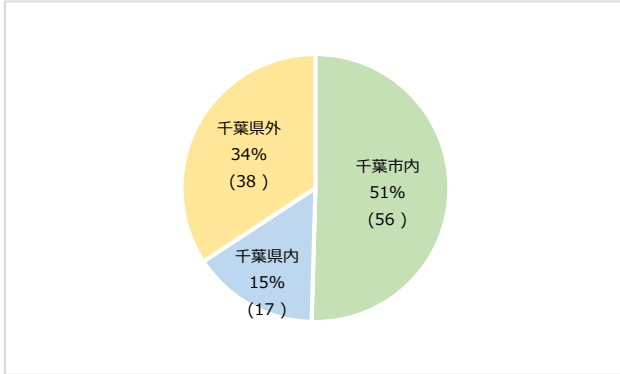
7. 来場者アンケート

a. 写真芸術展「CHIBA FOTO」

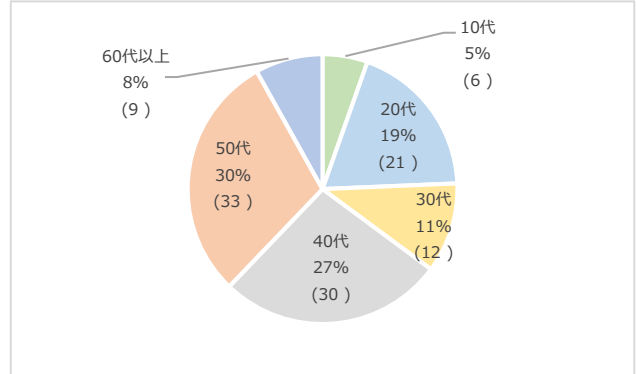
集計方法：パンフレットにQR（ちば電子システム）を掲載し実施

有効回答数：111

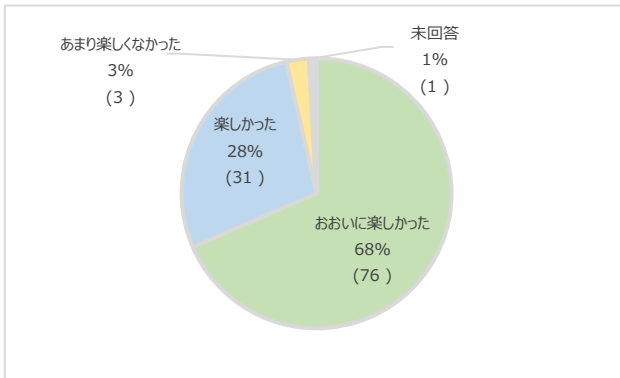
居住地



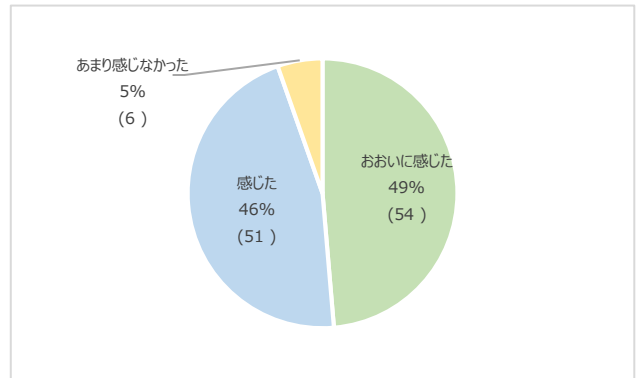
年代



Q1 本展示をご覧になってお楽しみいただけましたか

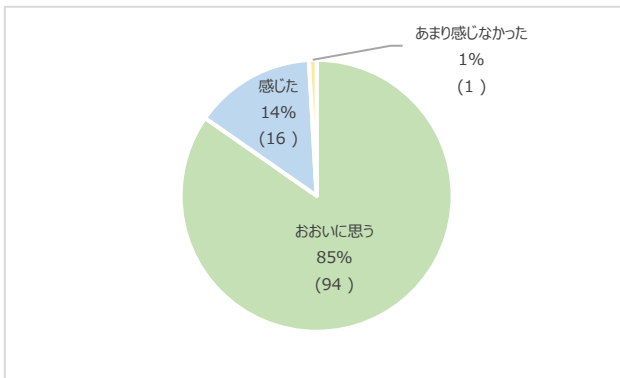


Q2 本展示の鑑賞を通して、新しい文化力を感じましたか

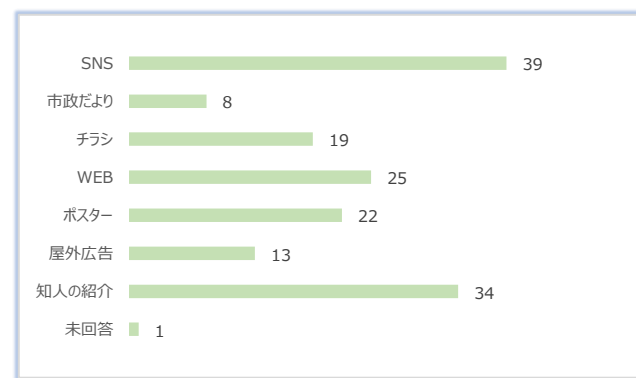


Q3 本展示のような取組は、文化芸術を気軽に体験・鑑賞できる

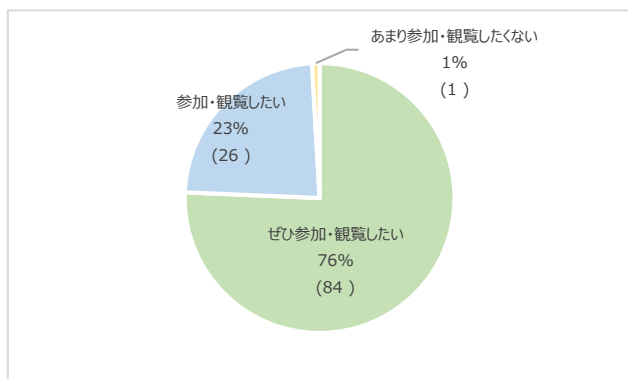
取組みだと思えますか



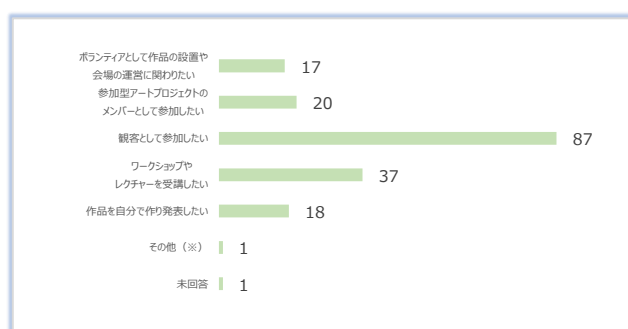
Q4 本展示を何で知りましたか（複数回答可）



Q5 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、参加もしくは観覧をしたいと思いますか



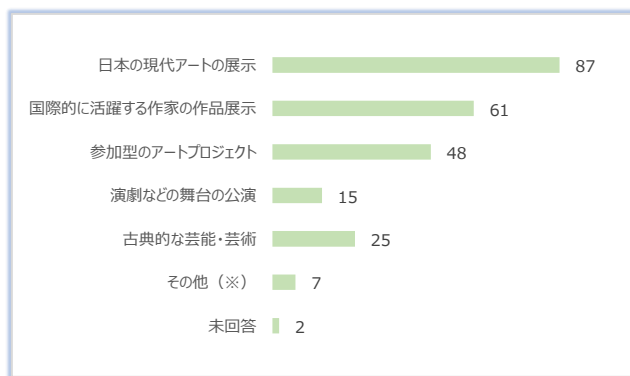
Q6 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、どのような形で参加したいと思いますか（複数回答可）



【その他（※）】

- ・記録撮影班として芸術祭の様子を撮りたい

Q7 次回の千の葉の芸術祭で、あなたが開催してほしいと思う文化芸術活動はどれですか（複数回答可）



【その他（※）】

- ・国内外写真
- ・市や県の枠組みを越えた優秀な音楽団体や舞踊、アートとのコラボ、WS、舞台
- ・地域に関わるアーティストの展示

Q8 その他、千の葉の芸術祭や CHIBA FOTO についてご意見がございましたらご記載ください

【良かった点】

- ・千葉市を写真家の目線で見ると、普段歩いている景色と違ってとても新鮮に感じ、新しさを見つけられて面白かった
- ・千葉県でこのような試みがなされることは大変意義深いことで、市原の方ではおこなわれていると思うが、千葉市周辺でも積極的に開催してほしい。例えば引込線のように記録集を刊行してアーカイブしていきながら、継続して行っていければ素晴らしい。千葉にある歴史的な建築や使われなくなった店舗を使うのはとてもいい。どんどん衰退するなかで増え続ける穴を有効に活用するという事は様々な都市における芸術祭の開催のモデルとして有効でいるように感じた
- ・意欲的な取り組み。コロナで色々なアクションが難しい折だが、こうした文化の発信はとても素敵。尽力された皆様に敬意を表す。今後も期待
- ・最初は初めての芸術祭ということもあり、本当に面白いのか、客寄せパンダ的な芸術祭なのでは無いかと懐疑的な気持ちでポスターの前を素通りしてしたが、千葉市美術館の企画展のついでに見たところとても面白く感動した。それでいて「千葉の魅力再発見！」的な観光資源、娯楽的な側面としてただ面白だけでなく、成田空港の建設の件など千葉が辿ってきた歴史の中でとても考えさせられる内容の写真展などが行われていて、千葉が辿ってきた歴史を改めて見つめ直す良いきっかけとなった。素敵な展示をありがとう。まだ展示の期間があるので、また私用でどこかの展示会場の近くに来た際には立ち寄り、今まで知らなかった千葉の歴史を学びたい
- ・無料なので行きやすい。でもとてもよかったので料金を払ってでも観に行ったと思う。これからもどんどん千葉市が芸術を盛り上げる市になってほしい。今はコロナで難しいが他県の人も観に来る様なイベントを開催してほしい
- ・印刷物、ウェブ、展示、アートディレクションに一貫性があり、質の高さを感じた。また、千葉というところをこういうふうに歩いたことがなく、とても良い街であることを実感した。また1日で回れるボリュームも良かった。

- ・エリアを使った写真展示は素晴らしい試みだと思う。それぞれのインスタレーションもよく考えられていて、作品に集中して楽しむことができた。次回も CHIBA FOTO を開催してほしい
- ・まだ一箇所目だが、大変見応えのある硬派な展示で大満足。コロナ禍で期間が短いのがちょっと残念だが、開催した主催者、アーティストに感謝したい。より多くの方に見て欲しい展示
- ・現代アートは難しいといわれるが今回千葉公園の展示には、子ども多く気軽に楽しめる感じがよかったと思う。各展示会場に違いがあり、光が差し込んで光が映りこむところと真っ暗なところ、広さも違い、誰の作品をどこに展示するのか、どう展示するのか、どんな風に決めたのか興味がある
- ・スタッフの方が皆さん丁寧で嬉しかった
- ・今回の企画をきっかけに、さまざまな写真の企画が続くといい。現代もそうだが、少し前の戦後から今までぐらいの写真で構成するとか、今回は海岸線が多かったので内陸も取り上げるとか、企画次第である程度の回数は企画できると思う。毎年は無理にしても、2、3年に一度ぐらいではいかがか。今回の企画では、千葉市内の各所で開かれていて、市内を歩くという趣向もあり、よい企画だった。できれば写真による表現を希望するが、市内に展開する展示企画はいろいろとやってほしい。制約の厳しい中いい企画だった
- ・コロナ禍で大変な中、運営お疲れ様です。個人的には楽しめた。たまたま見たかった出展作家さん、本城さん、佐藤さんが同じ会場だったのは良かった
- ・見応えのある作家が多く良い展示と感じた。次回も開催してほしい
- ・またの機会を期待
- ・このような時期の開催ご苦労も多かったと思うが、このような写真展が千葉市で開催される意義は大きい。継続開催され CHIBA FOTO がブランド化されることを期待
- ・展示の会場も素敵な日本家屋で、展示も会場の雰囲気にあっていて、とてもよかった
- ・大学で写真を学んだことから、写真の展示や芸術祭などのイベントには行く機会が多くある。CHIBA FOTO は地元での開催なのでエリアごとにじっくりと鑑賞し、それぞれ個展レベルのクオリティ高い展示に驚き、大変楽しめた。トークイベントにも参加し開催までのプロセスを聞くことができ、内容の重厚さに納得。千葉市出身だが東京や京都で働いたり学んだりしていたので「千葉には何も無い」と思い常々口にしてきた。今回の各作品から見方を変えると見え方が違って来る、決して何も無いということを実感し、千葉を見つめ直す良いきっかけになった。千の葉の芸術祭は地元千葉市民にたくさん見て欲しく、学校の芸術体験授業などで若い世代にも触れて欲しい。コロナ禍でそれが難しいことが残念。介護をきっかけに千葉市へ戻り、このまま千葉へ住み続けることを決めたタイミングで、千の葉の芸術祭に出会うことが出来て私自身の励みにもなった。今後も開催されることを望み、関わる事が出来たら嬉しい
- ・写真展として継続して欲しい。作家も多岐に渡り、展示も素晴らしかった
- ・千葉市美術館の前を通った時にポスターを見かけてそのまま観覧。無料だったので気軽に入れた
- ・場所と作品が合っていてよかった
- ・今回はコロナ禍の影響で、何かと不自由な中での開催になったと思うが、質の高い展示が実現したことに敬意を表す。作家の皆さん、スタッフの皆さん、本当にご苦労様。近い将来、再びこのような展示が実現することを心より期待
- ・今はまだ知名度が低く、コロナ禍も重なり盛り上がり欠けた面もあったと思うが、優れた美術館を所有する千葉市で、市が行っていると思えないくらいのお洒落なイベントが根付けば、若い市民も楽しめ、市の魅力を対外的に発信する効果も高いと思うので、職員の方は大変でしょうが頑張してほしい
- ・川内倫子さんの作品を地元で拝見できて大変よかった。その他の作品も千葉市の様々な施設に展示されており両方楽しめた。次回の展示があることを期待
- ・写真単体ではなくて、展示の会場や方法によって空間そのものが1つの作品となっているのがとても面白かった。松波分室の清水さんの作品はその場にいるだけでとても心地よくなり、特別な経験をできたように感じた。次回も芸術祭があったら是非訪れたい
- ・どの作品も会場も面白かった
- ・作品もだが、展示会場と設営がとてもよかった。松波分室と好日亭は今回のイベントで初めて入ったが、神谷伝兵衛別荘やいなげの

家もふくめて、こういう場所にもっとスポットライトがあたるといい

・とても素敵な展示空間と作品の融合が素晴らしかった。しかも無料で楽しめるのがありがたい。関係者の皆さんに感謝。とても良い写真祭だったのでこれからも続いてほしいし、応援している。楽しませて下さりありがとう

・千葉市美術館に初めて来た。建物が素晴らしくて、驚いた。古い建物を効率的に利用するのは課題が多いと思うが、パネルを鏡面にするなどのアイデアのおかげで、空間に広がりを感じられ楽しめた。あまり期待しないで来たが、良い印象を持った。この芸術祭が長く続いて、多くの人に知られ、見てもらえるといい。9階の作品の被写体になっていた子どもたちは見に来たのか。見てほしい

・写真は彫刻や音楽、舞台と違って入り口の敷居が低いから、表現手段としては高尚にならざるを得ず、つまらないものだと思っていた。でも様々な場所でインスタレーションとして見ると、とても面白い。まだ全部は見えていないが、美術館の展示は、写真にはまだまだできることがあると思わせてくれた

・今回の展覧会では、アーティストの作品からそこに生活している(いた)人々のアーカイヴまで、場所を選び丁寧に展示されていたこととても好感を持った。二日間でゆっくり観ることができる距離感と展示量も良かった。また、半光沢の壁をそれぞれの会場に介入させることで、他のアートフェスでは見られないような作品とその周りの景色のハーモニーを作り出せていることが、とても印象に残っている。2回目以降には是非繋げて行って欲しい

・内容的に、著名で評価の高い写真家さんが多数出展されていて、無料というのもあり、もっと芸術祭の知名度が上がってもっと沢山の人が芸術に触れる機会が増えると良いなと願っている。正直、観覧無料と言うのはあり得ないくらいのレベルとクオリティ。素晴らしい写真にたくさん触れられて大満足

・素敵なイベントが自分の住む街で行われたのは嬉しいし、誇り。まだ会期があるため最後まで駆け抜けてほしい

・予想よりとても良かった。個人邸、茶室、旧喫茶店、エレベーター等元々味のある会場を、1会場一作家でそれぞれの世界観を作り、かつ、全会場を通して会場装飾の統一感もあって、写真展というジャンルにとどまらない、とても質の良いインスタレーション作品に感じられた。とにかくセンスが良い。全会場を回り、いずれも良かったが、特に気に入ったのは松波分室、千葉公園茶室、コミュニティセンター、そごうエレベーター、神谷伝兵衛邸、ゆかりの家。さや堂など千葉市美術館内の展示もよかったが、やはり普段行かないところの方が新鮮味はあがる。ジャックインも行ったが、ジャックインより CHIBA FOTOの方がしっかり味がかった。千葉市には、美術館もあり、美術文化レベルが高い。企画者にセンスの良い方を選んでいる。この質を維持して、また開催してくれたら嬉しい

・紹介された作家、作品、会場、周辺の街すべてが面白い展示でとても満足！千葉を通して作品の魅力を感じさせられるような内容だったので、この街で観れて本当に良かった

・良い試みだったので、来年以降もぜひ続けてほしい

・近いけれども、なかなか行く機会のない千葉市に行くきっかけになった

【改善点など】

・作品はとてもよかったので、コロナ禍で難しいかもしれないがもっとたくさんの人に見てもらえるような広報があるといい。美術関連の情報をチェックしている人には届いているが、市民でも美術に関心がない人には全く届いてないように感じ、もったいない

・このような芸術祭を行う上でのテーマが無かったのが少し残念。その場所に関わるという点だけだとあまりにも開催意義が薄いと思う。千葉県や千葉市の理念などと絡めつつ現代的テーマを設定すれば多くの方面に対して開催する意義を認められやすいのではないか。今回の芸術祭で制作され展示された作品郡がどこに収蔵されるのかということが問題であるように思う、サイトスペシフィック結構だが、そこで制作されたものを展示保管できるところがなければ、サイトスペシフィックはただの方便でしかなく、霧散するだけ。今回の展示における銀の反射する壁が非常に気になった

・説明が不足している

・WEB がわかりづらかった。場所によって開館時間が違うからだと思うが、作品詳細ページまで行かないと何時までやっているのかわからず苦労した。マップもスマホで見るとは見づらかった。ぱっと見て全ての作品が把握できる作品一覧と、会場一覧(住所、開館時間等)のページがトップにあるといい。現地に行くとパンフレットがもらえたが、事前にWEBでダウンロードできるといい

- ・ 出展作家の写真集などが売店にあった。たまたま見たので気づいたが、積極的にアピールした方がいい
- ・ 千葉市美術館の WEB でほとんど告知がなく、やっているのかどうかわかりにくかった
- ・ ポスターを販売しても良いのでは。スタンプラリーもあると良い
- ・ なかなか告知がいきわたっていないのは残念
- ・ 夏は暑すぎるのでシーズンを選んでほしい。今回はまずモノレールのフリー切符を使い行ける範囲を選んで移動し、残りは別の日としたけれど、移動する交通機関、合理的に見学する方法の提案などあればよいのでは
- ・ コロナ禍で宣伝を大きくするのは難しいかもしれないが、良い作品がこれだけあるので広報にもう少し力を入れた方がよい
- ・ 会場を分散させたのは主催者側の都合で、観客にとっては不便。イベントに参加した体験としては、作品以上に記憶に残ってしまう移動中の町の風景もアートのフェスらしくなく殺風景で興醒めに感じられた。事前の広報もかなり改善の余地あり。チラシの PDF を WEB に掲載するだけでもかなりマシになったはず。見かねたアーティストがチラシのページの写真を SNS に投稿していた。県外の人間は、数カ所を移動するのにぜんぶ自分でスマホで調べてノートに書き出さなければならなかった。それらしい WEB はあったが、正直、現地に行くのにどこからどうやって回ればいいのか、分からずかなりストレス。予算の問題ではなく、ちゃんと考えてプランしていないイベントだったという印象。ここまで参加者に負担をかけて、県外からの参加者を期待するのなら、厚かまし過ぎ
- ・ 会場が分散していたため、1日ですべての作品を鑑賞できるおすすめルートとスケジュール（移動時間などの目安）が提示してあればもっと良かった
- ・ 会場で配られているガイドマップの PDF を WEB の分かりやすいところに表示して欲しい。土地勘がないと回るのは結構大変で、事前にどう回るか計画を練るのに1番あのガイドマップが情報が集約されていて見やすいのに WEB で見つけられなかった。Twitter で画像は見つけたけど、解像度が低くて詳細まで確認できなかった。これは次回開催するなら真っ先に改善してほしい。モデルコースもあれば、いちいち調べるのが面倒な腰が重い人も行ってみようかなという気力がわくかも知れないと思った。もしくは Google マップで会場のリストを作って、リンクをサイトに貼ったり、QR コードで読み取れるようになっていると使いやすい。各会場のスタッフたちおすすめランチやカフェスポットも Google マップのリストにしたら回るほうとしては助かるし楽しい街歩きの仕掛けになりそう。各会場に乗り捨てできるレンタサイクルがあったら最高。難しいようなら、一カ所だけでもあると嬉しいし、それもハードルが高ければ先程の Google マップにレンタサイクル屋の情報を載せるとか。会場が広域に渡るため、自転車があればもっと効率よく回れる
- ・ 今回の展示のアーカイブやカタログなどを作られるようなら、知らせてほしい
- ・ 会場が点在しているのは狙いがあったとの事だが、1日で全て回れるくらいだと県外の人も来やすい。私は12時に家を出て西千葉の会場と、千葉市美術館を回ったらほぼ時間切れ。3回に分けて見れたら良かった。写真を見ると言う事はまだまだ一般的でないのかなと、息を吸うように自然に写真鑑賞を楽しむのが根付くと良いと思う。写真鑑賞の楽しみ方講座みたいなワークショップがあると楽しい。今回のイベントを知ったのは8月末に乗った電車の広告で。来年以降は更に認知度は上がると思うが、認知度向上への工夫が必要。全ての展示を見たかったが、また来年楽しみにしている。夏辺りに19時くらいまで開催時間があると嬉しい
- ・ コロナ禍のため、もう少しスタッフの人に換気や密を避けるための入場制限の意識を持ってもらえたら、という場面もあった
- ・ 千葉中央エリアの会場の方も、もっとユニークな場所や動線を望む。稲毛区エリアの方が面白かった
- ・ 周遊ルートが欲しかった
- ・ これだけの質の高さで丁寧につくられているので、もっと拠点となる場所を設け、例えば市美術館や駅など、写真集を売ったり、情報を仕入れたりとできたら良かった。また、PR も。コロナの中で頑張ってくれたとは思う
- ・ 無料でなくとも良いと思うくらい良かった。全て見て半日かからずで回れたので、有料で良いのもっと多く見られてもよい

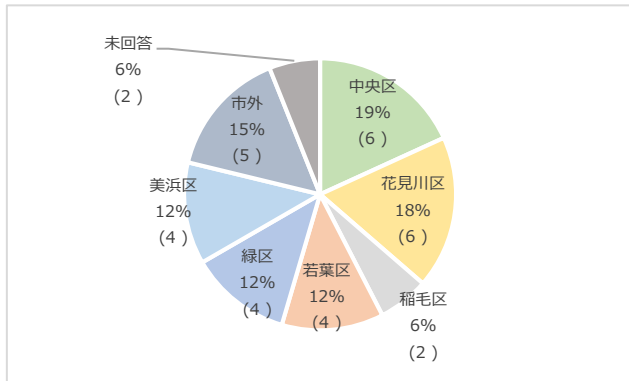
b. 創造・体験ワークショップ「ななめな学校」

■ワークショップ

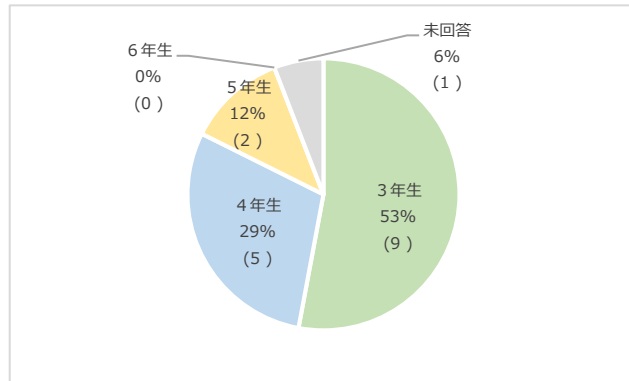
集計方法：紙アンケートを配布

有効回答数：33

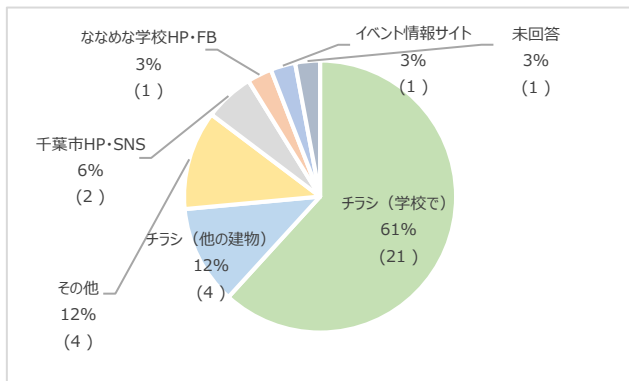
居住地



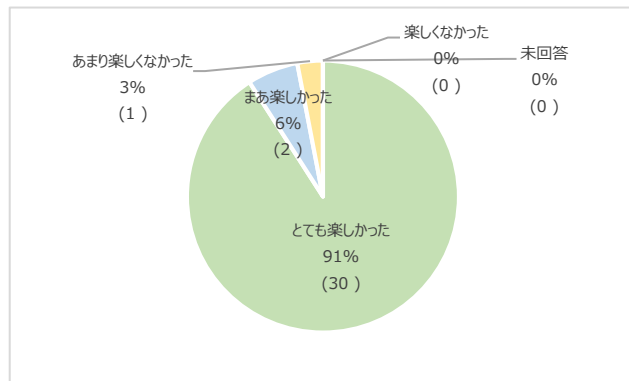
学年（授業1、2のみ）



Q1 何で知りましたか



Q2 参加してどう思いましたが



Q3 授業の中で、初めて知ったことやおもしろいと思ったことを教えてください

【授業1、2】

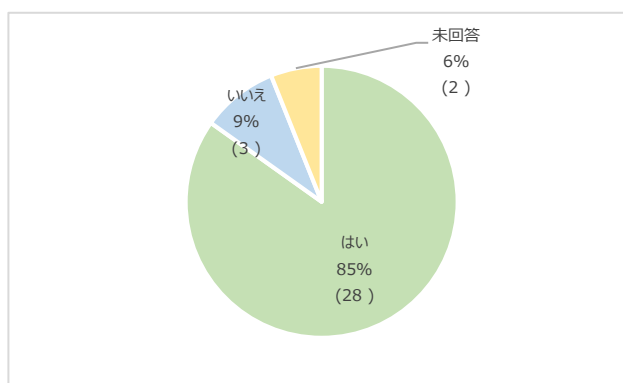
- ・人前で何かをすることが苦手で今日も緊張したが、この機会のおかげで新しいことにチャレンジできた
- ・衣装作りの楽しさ、面白さを知った
- ・メイク
- ・髪を巻いたりできることを知った。野菜を知った（マッシュルーム）
- ・服はこんな簡単に作れるんだと思った
- ・千葉県の有名な野菜がわかった。洋服をつくるのが楽しかった
- ・新しい友達ができた。先生が面白かった
- ・人前で大きな声を出したり歌ったり踊ったりすることは、最初恥ずかしかったけれど、とても楽しいことだと知ることができた
- ・最後の発表会では、お客さんの前で演じたり歌ったりするのがとっても楽しかった
- ・日常的な素材でも十分演劇になること
- ・友だちとひとつの目的に向かって、協力していくことが面白かった
- ・ハキハキ話すことで、お客さんに言葉が伝わることの大事さを知った
- ・初めて会ったみんなの性格が徐々にわかって、友達になれた
- ・台詞を覚えて言うのが演技や演劇だと思っていたけれど、台詞がなくても演劇になるということ

- ・ななめの小学生メンバーが個性豊かで面白かった
- ・演劇って物が実際になくてもフリでも成り立つんだなと思った

【授業 3、4】

- ・感覚的な映画の作り方を知った
- ・スマホに入っているアプリでここまで本格的な映画が作れることを初めて知った
- ・映像にすること
- ・他の人の感覚を見れて感じることでできて楽しかった
- ・吉開さんの踊りの感覚・間隔から映像をつくるという過程・他の人の物のとらえ方
- ・五感を使う大切さと楽しさ、骨組みからではなく、素材から広げていくという感性
- ・偶然に集まった受講生のメンバーのみなさんが、個性が被ってなくて、それぞれでとても刺激的だった
- ・全て！！毎回 120%おもしろいしかなかった。ストレッチも撮影も続ける
- ・見ず知らずの人の日記を読み続けることで、どんどん相手を知り親密な仲になっていくような感覚。日記を書くことで、自分の気持ちと向き合えた
- ・他人との時間の共有、同時進行、一体感
- ・日記を書くこと、誰かに見ってもらうこと、表現することについて考えた 2ヶ月。変化の過程で、いろいろな気づきがあった
- ・世の中の人、皆色々なことがある。みんな大変！！みんな許容量が凄まじい
- ・様々な人の人生に触れ、とても面白かった。WS こういう世界あると知った
- ・「日記を書く & 他人の日記を読む」2つのことを同時に行うことで、自分のことを客観的に考える良い機会になった
- ・他人を経験するってすばらしい言葉
- ・事前情報なく行ったので授業を受けるイメージだったが、思いがけず参加者主体で進んでいく WS で面白かった。たったの 2 か月だったが、今まで味わったことのないような達成感があり、参加できたこと、ここで得られたものは人生の中でもかけがえのないものになると思う。この講座は素晴らしいと思うので是非今後も続けてほしいし、できるならまた参加したい
- ・書き切れなくらい楽しめた。他人の日記に癒される、日記がテーマ→人となりが出過ぎる→話が早い→コミュニティ形成が早い、日記という形式の中では、どんな日常について書いていても、優劣もなくフラット、他の参加者の写真の良さや特徴は伝わってくるのに、自分の写真の特徴のわかりにくさ、成果展会場の模型という小さな同じ物を、WS でそれぞれに撮った写真の視点が様々

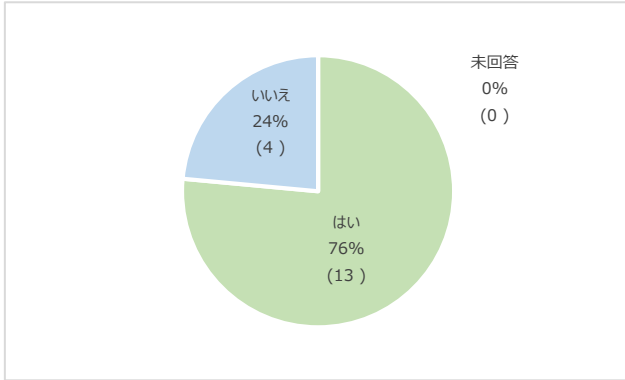
Q6 これからも「ななめな学校」に参加したいと思いますか



Q7 授業の中で、思い出に残ったことを教えてください（授業 1, 2 のみ）

メイク／衣装作り／成果発表会／野菜を触ったこと／歌／発声練習／踊り／ゲーム／新しい友達と仲良くなれたこと／先生たちが優しく楽しかった／みんなで遊んだこと

Q8 授業の中で学んだことを、自分でも身の周りのものを使ってやってみたいと思いますか（授業1,2のみ）



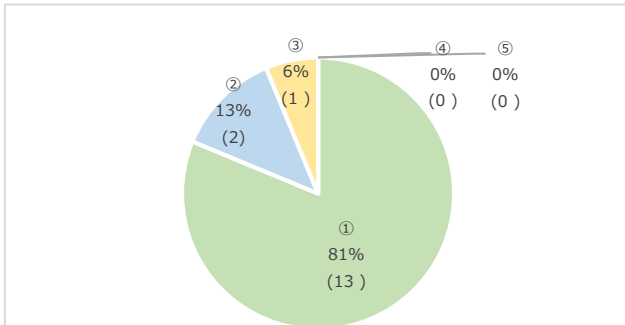
【どんなことをやってみたいか（自由記述）】

洋服・衣装作り／歌う／踊る／話す／発声練習／演技
伝え方を変えたい

Q9 新しく教えてほしいことを自由に書いてください（授業1,2のみ）

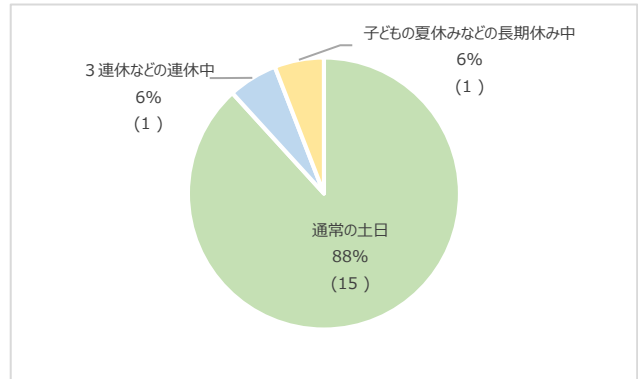
料理／工作・美術／ペットボトルや缶、プラスチックの工程／ミュージカル／体を使ったこと／演劇／ダンス／合唱／楽器演奏
科学／YouTube の開設の仕方／台本の作り方／植物を使った実験・遊び

Q10 どのような講座に参加してみたいですか（授業3,4のみ）

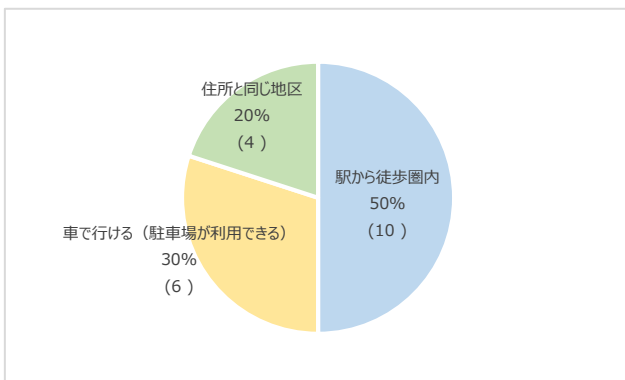


- ①半日程度の内容を長時間にわたって複数回実施する WS(今回と同じ)
②1日かけて実施する1回限りの WS ③半日で実施する1回限りの WS
④親子で参加できる WS ⑤未回答

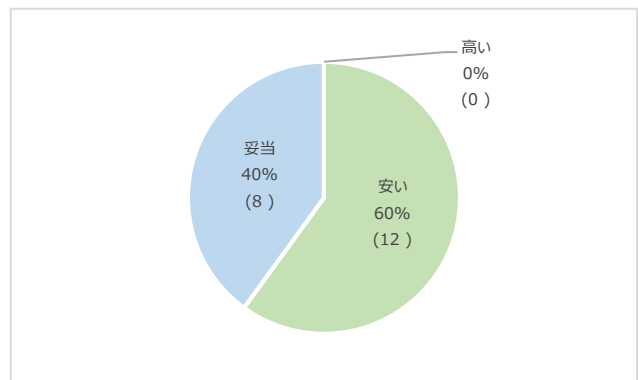
Q11 希望の開催時期があれば教えてください（授業3,4のみ）



**Q12 会場の希望があれば教えてください（複数回答可）
（授業3,4のみ）**



**Q13 今回のワークショップの参加料金について教えてください
（授業3,4のみ）**



Q14 参加してみたい授業内容（分野・テーマ等）（授業3,4のみ）

映像／写真／日記／哲学／カフェ／アイデア重視のもの／講師の人の考えに触れる／ボディワーク／初心者歓迎なら何でも／植物
アート／建築／言語学／民俗学

Q15 授業時間、申込み方法など、当プロジェクトについて、ご意見がありましたらご記入ください（授業3,4のみ）

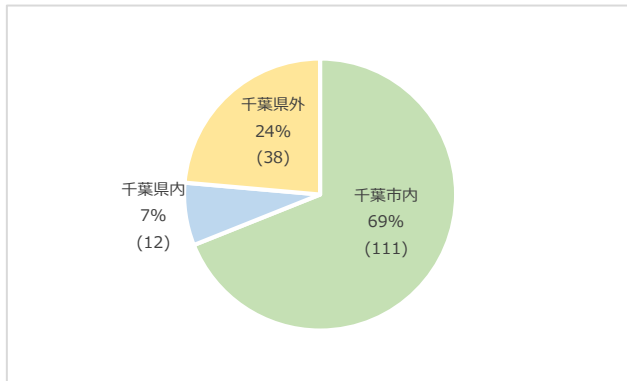
- ・楽しかったのもう少しやりたかった。第二弾も開催してほしい
- ・教室のwifi環境やPC設定など技術的に大変そうという場面はあったが、スタッフはいつも誠意をもって対応してくれてよかった
- ・手伝えることがあれば声をかけてほしい
- ・最初3時間は長いのではと思っていたが、毎回あっという間に終わってしまった。毎回テーマが良かった。とても楽しかった
- ・参加できて本当によかった。この場を設けてくれた関係者の方、参加者のみなさまに感謝！！
- ・参加者1人1人をとても大事にしてくれ、とても有難かった。先生やスタッフ、メンバーに恵まれ、とてもいい時間を過ごせた
- ・すごく有意義な2ヶ月。金川さん、細谷さん始めスタッフの方々、準備・運営、感染症対策等ありがとうございました！
- ・もっとやりたかった。半年など講師の方のスケジュールが許せばもっと長期でやっても面白い
- ・満足。ありがとうございました

■成果発表会・トークイベント

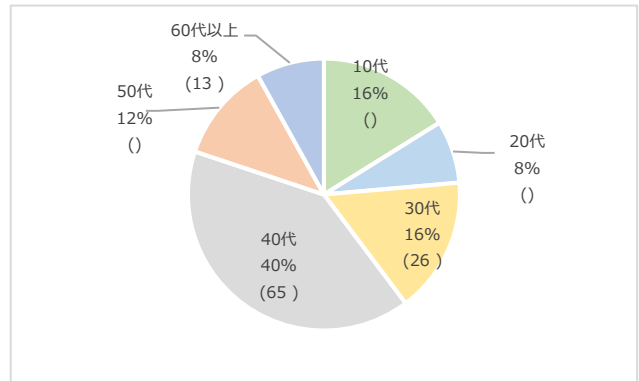
集計方法：紙アンケートを配布

有効回答数：161

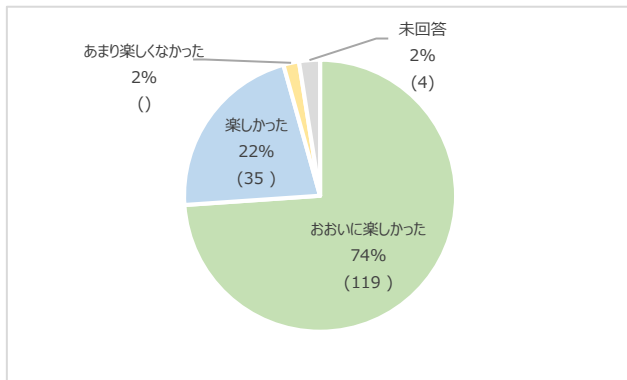
居住地



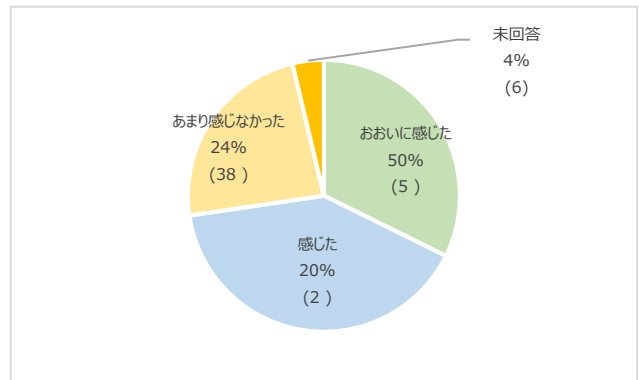
年代



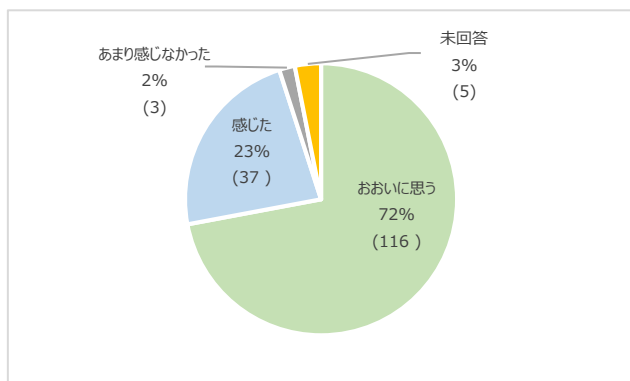
Q1 本展示をご覧になってお楽しみいただけましたか



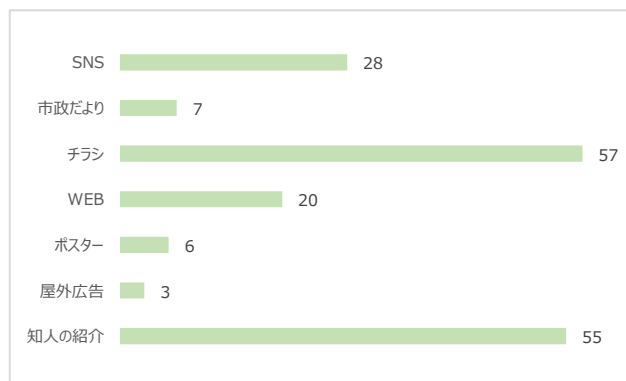
Q2 本展示の鑑賞を通して、新しい文化力を感じましたか



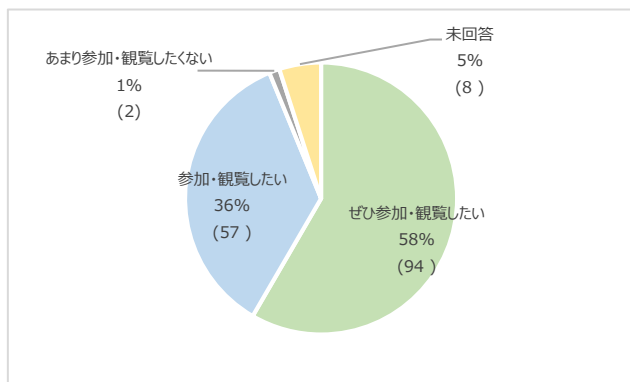
Q3 本展示のような取組みは、文化芸術を気軽に体験・鑑賞できる取組みだと思いますか



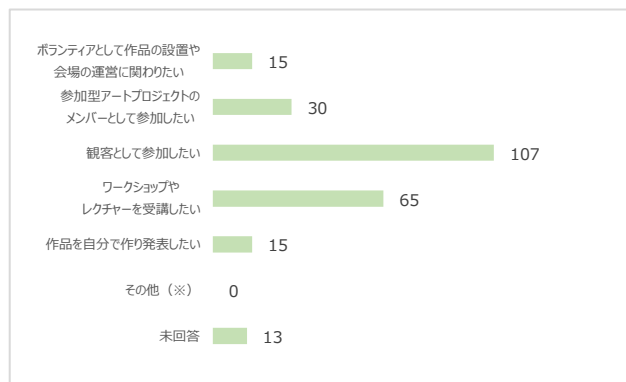
Q4 本展示を何で知りましたか（複数回答可）



Q5 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、参加もしくは観覧をしたいと思いますか



Q6 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、どのような形で参加したいと思いますか（複数回答可）



Q7 次回の千の葉の芸術祭で、あなたが開催してほしいと思う文化芸術活動はどれですか（複数回答可）



【その他（※）】

クラシック音楽／参加型の音楽とアートの融合型イベント（ダンス、ペイント、絵画、ファッションなど）／バレエ、コンテンポラリーダンス／華道／多ジャンル

Q8 その他、千の葉の芸術祭やななめな学校についてご意見がございましたらご記載ください

【良かった点】

- ・毎回楽しく参加させていただいたようで、本当にありがとうございます。将来デザイナーになることが夢だと話していたので、今回のワークショップを通して具体的に仕事にイメージもできたと。ぜひこのような機会を続けて実施してほしいと思う
- ファッションショーすてきだった
- ・子どもにとって貴重な体験になった。関わってくれたすべての方に感謝。子ども達、中・高生も含めて様々な機会があると良い
- ・子どもがとっても楽しい、また行きたい！と毎回楽しみで仕方がない様子だった。発表会の演出もとてもすてきだった。これからも千の葉の子どもたちが、たくさんのアートにふれるチャンスがあれば、とてもすてきだと思う。今回は本当にありがとう

多学年にわたり交友がもてたことに感謝。何より本人が毎回楽しみにしていて参加できて良かった。仲間との別れはさみしいが、いつかまたどこかで会えると嬉しい。子どもたちに素敵な思い出をありがとうございました

- ・お世話になりました
 - ・子どもが本当に楽しそうに通っていた。控室に入っただけで喜んでた。貴重な体験をありがとう。たぶん一生忘れないと思う
 - ・子どもたちがのびのびと演技しているのがよかった
 - ・とても貴重で有意義な経験ができた。親子ともに楽しく学ぶことができた。先生やスタッフのみなさまには感謝
 - ・初めて演劇に携わらせていただいた。このような機会をつくってくださり、ありがとうございます。1回目から、とても楽しく参加した。先生はじめスタッフの方、お友達と一緒にひとつのことを作り上げていくことはとても楽しく、また貴重な経験をさせていただいた。終わってしまうのが残念で仕方がない。また機会があれば参加させたい。ありがとうございました
 - ・生き活きた子供達の姿に感動した
 - ・雨降りの中だったが若いパワーが感じられて楽しかった。なじみの BGM・歌もパワーがあって良かった
 - ・とても楽しかった。また見に行きたい
 - ・今回初めて娘がワークショップに参加。毎回行くのが楽しみで仕方がない様子で見ているこちらも一緒に楽しめた。プロの方から教わる、接する機会があることは子供にも大人にもとても素晴らしいことだと思う。本当にありがとうございました!!
 - ・僕も参加したかった。
 - ・すばらしい取り組みだと思う。たくさんこのような機会を作ってほしい
 - ・とても楽しかった。今度何か作ってみたいと観ている側も思えた。ありがとうございました！
 - ・吉開さんのファン。ほったまる日和、some rules in the morning が好き。some rules～ほんとにかっこいい。最後のバツンバツン、バツバツ、バツ、バツなんかとんでもなくかっこいい。ワークショップは時間がとれずに参加できなかった
- いままでの発表をすべて見ているが、題(テーマ)を見ただけでは思い浮かばないくらい中身の濃い、そして参加者の方の変化も大きく、とてもすばらしい取り組みと思った。次回も楽しみ
- ・想像以上に一つ一つの作品がユニークで大変面白く観た。文章表現の学校などあれば参加してみたい。五感をひらくワークショップの内容が素晴らしいと思った
 - ・芸術に関して最近の千葉市はすごくがんばっていると思う
 - ・今回友人が参加したことで初めて知った。元々興味があったので、観ることができてとても楽しかった。子供達も興味があるよう
 - ・今回すべてのWSを拝見したが、とてもすばらしく、続けて何回も開催してほしい
 - ・母なる大地の歌、私が好きな曲でエンディング。マスクをつけての練習大変だっただろうが見ごたえがあった
 - ・この演劇鑑賞を機会に、ななめの学校のWEBを拝見した。とても興味深く今後も見たい。素晴らしい公演。再演を期待
 - ・このようなお芝居を子供たちに見せる機会はなかなかないのでよかった。ありがとうございました！
 - ・個人的な話で申し訳ないのですが…私は学生時代、双数姉妹の公演が大好きでよく観に行っていた。舞台では大きく見える大倉さんが実は割と小柄でビックリした！ということなどよく覚えている。子育てに追われてお芝居の公演からも遠ざかっていますが、CASTに大倉さんのお名前を拝見して興奮した
 - ・ななめの学校はほかの区の子たちと交流できてよいと思った
 - ・とても面白かった。俳優の方々の力量が素晴らしく驚き。コロナ対策を意識したような演出も良かった。「楽屋」を新鮮な形で味わうことができた。無料で素敵な作品を見せていただき感謝
 - ・言葉のはきはきしたのが後ろにいても聞こえやすかった
 - ・三条会の舞台とても楽しかった！！世界観に引きこまれた！今日観れて良かった
 - ・ななめな学校で子供がお世話になり拝見した。うちの子は小さい頃から雰囲気苦手で劇場を怖がっていたので、これが初めての観劇。身近に感じていた皆さんの舞台上での姿を見てどう感じたか聞くのが楽しみ。貴重な機会をありがとうございました。
 - ・初めて舞台に出たり見たりした。少し緊張したけど仲間がいて心強かった！またやりたい。とてもハキハキしていて後ろの客席でも

聞こえやすかった

- ・とても素敵な舞台。ありがとうございました
- ・芸術は縁遠い生活をしている。少しでも触れることができ良かったと思う長いセリフすごかった。楽しかった！
- ・今回関先生の舞台が見られてとても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました
- ・ななめの学校で初めて演劇して楽しかった
- ・ななめの学校では関先生はじめスタッフの皆様には大変お世話になった。深く感謝申し上げます。演劇というなかなか体験できないことを経験できた。演じることの楽しさ、人前で話すことができるようになれそう。ありがとうございました。
- ・本日の公演を観てとても素晴らしかった

【改善点など】

- ・千葉市は美術館を有しているものの、地域の芸術活動は少なかった。今年の取り組みが千葉市に根付けるかどうかこれから楽しみ
- ・後方空席が多かったのもっと PR した方がいい
- ・予想していたものとは違った、子供たちの遊びのように感じた
- ・日本の最先端の先生が教えてくれるWSをもっと広く伝えるべきだと思う。次回も吉開先生のワークショップを開催してほしい
- ・学校でもこんなイベントや講習のようなものがあるのもいいかなと思う。親子でできるのも面白そう。もちろん大人だけで学べるのも。あまり体験できない事なのでまたこんな機会があるといい
- ・市民と千葉市の場所で写真をとる。例えば稲毛海岸、マリスタジアム、千葉公園（大賀ハス）。そのような中で人を配置する
- ・座席が前の方でよかったが、出演者の方が見えないシーンがあった。それ以外はとても良かった
- ・三条会の本公演でも公演してもらいたい
- ・演劇に適した会場での公演を期待

Q9 本トークイベントをお聞きになった感想をご記入ください（授業4「トークイベント」のみ）

【良かった点】

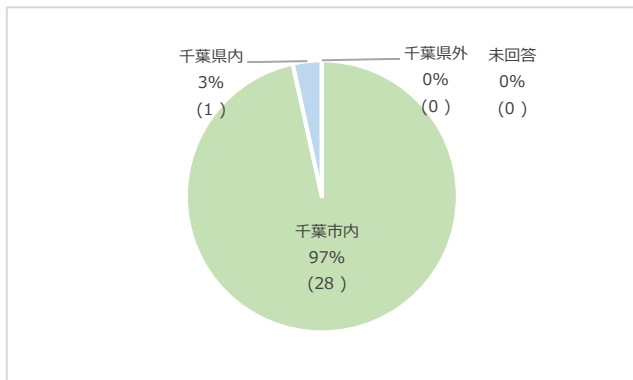
- ・人の話を聞くと自分も語りたくなるものだなと思った。日記を読むと書きたくなるのもわかる気がする
- ・WSを受ける中で築かれた関係性、自己表現についての考察について知ることができた
- ・今日は時間が無かったので今度は日記を読んでみようと思った。作者の人となりを知ることができたのでちょっと知り合いの人の日記をのぞく気持ちかもしれないが
- ・日記を書くこと+写真を入れることの効能、影響、変化、行動の変容が面白かった
- ・日記についてのそれぞれの思い入れを聴くことができ良かった
- ・日記一つで色々なきっかけ、書き方があることを知った。それが行動記録か、その時の感情の記録なのか、人によって色んな解釈があるということを知り、自分が日記を書くとうなるのか試したくなった

c. 伝統文化の発信「伝統文化 体験・鑑賞会」

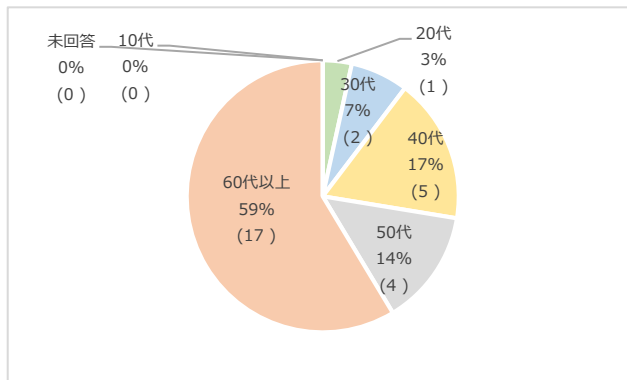
集計方法：紙アンケートを配布

有効回答数：29

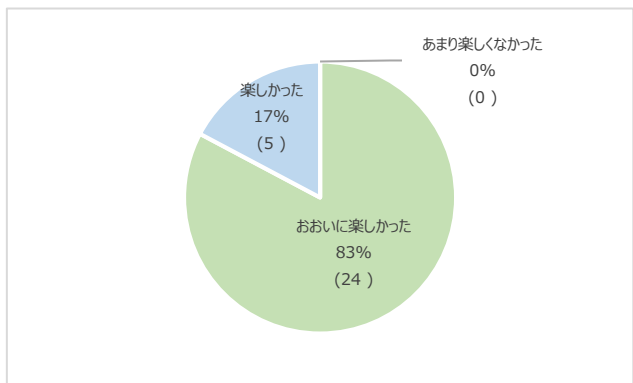
年代



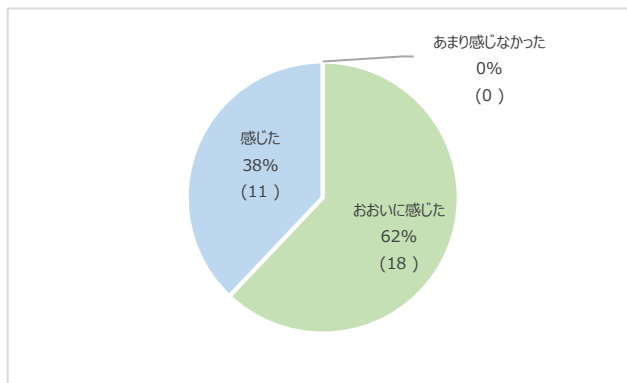
居住地



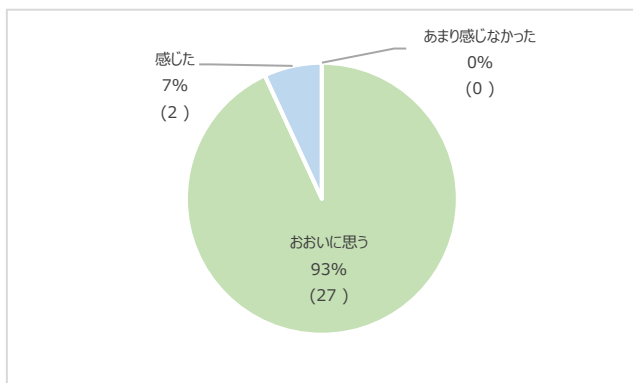
Q1 本展示をご覧になってお楽しみいただけましたか



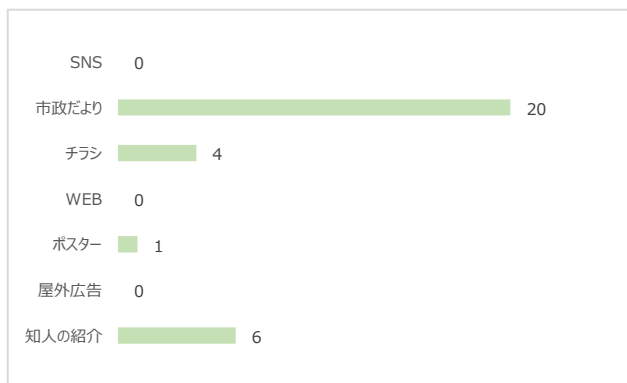
Q2 本展示の鑑賞を通して、新しい文化力を感じましたか



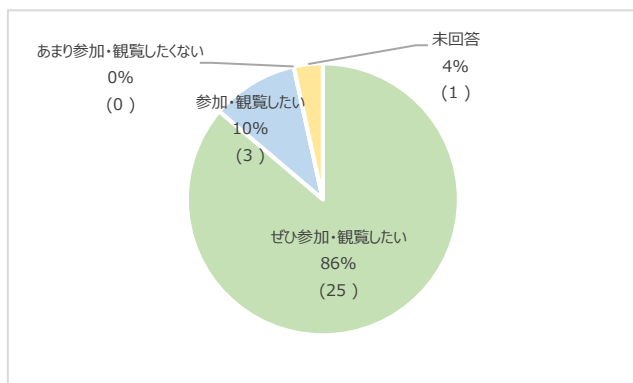
Q3 本展示のような取組みは、文化芸術を気軽に体験・鑑賞できる取組みだと思いますか



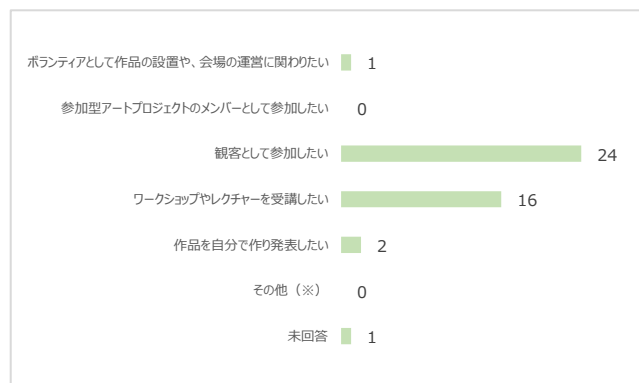
Q4 本展示を何で知りましたか（複数回答可）



Q5 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、参加もしくは観覧をしたいと思いますか



Q6 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、どのような形で参加したいと思いますか（複数回答可）



Q7 次回の千の葉の芸術祭で、あなたが開催してほしいと思う文化芸術活動はどれですか（複数回答可）



Q8 その他、千の葉の芸術祭や伝統文化の体験・鑑賞会についてご意見がございましたらご記載ください

【良かった点】

- ・ 久しぶりに精神と心が落ち着き、心豊かになって帰れる
- ・ 生の演奏は初めてだったがよかった。琴、三味線の説明、曲の説明などわかりやすくよかった
- ・ 舞台ではなく、すぐそばで鼓の音を聞けて良かった。亀や蟬も音に反応する話とても面白かった
- ・ コロナが毎日新聞をにぎわしている盛夏のひとつ美しい音色といけばなで楽しいひとときを過ごせた。有難うございました
- ・ 久しぶりの生の演奏をすてきな自然の中で聞くことができた。ありがとうございます
- ・ 普段聞くことの少ない琵琶を聞くことができた
- ・ 普段では中々体験できないことなので、小1小4の娘たちにも、ふれさせる事ができ、貴重な機会を大変ありがとうございます。庭園もとても雰囲気がよくすてき
- ・ 以前、母が三味線、私が琴を習っていたことがあり、今日はとても楽しく拝聴した。今日初めて琵琶の演奏を聴いたが、とても感動した。説明も良く分かった。ありがとうございます。
- ・ 迫力ある和楽器の音色を間近で聞けて、とても有意義だった。またぜひ聞きたい
- ・ 琵琶の演奏に実際に聞けて非常に興味深かった
- ・ 毎年特化した企画をしてもいいかと思う。久しぶりに生け花をさせていただきありがとうございます。心の癒しとなった。企画運営のみなさま、おつかれさまでした
- ・ 自分の好きなように生けながらも、先生がポイントを教えてくれて、楽しく生けることができた。ありがとうございます
- ・ 有意義な時間をありがとうございました
- ・ 久しぶりに生花をした。オアシスコース 今日作品を再現したい。本日は色々有難うございました

- ・お花はいい
- ・普段体験できない事が体験でき、とても勉強になった
- ・20～30年ぶりに生け花を楽しむことができた。準備やアドバイスなどをしていただいたお陰。お花や花器まで持ち帰ることができ、また自宅で家族とお花を楽しみたい。有難うございました
- ・とても丁寧に教えていただき、たくさん勉強になった。ありがとうございました
- ・生け花の体験をさせて頂きありがとうございました。大変勉強になった

【改善点など】

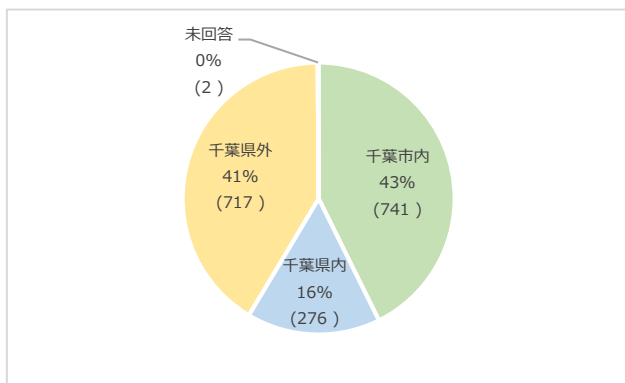
- ・時間が少して残念だった
- ・生花の基礎をレクチャーしてもらえると尚良いと思う

d. 新しい文化の発信「生態系へのジャックイン展」

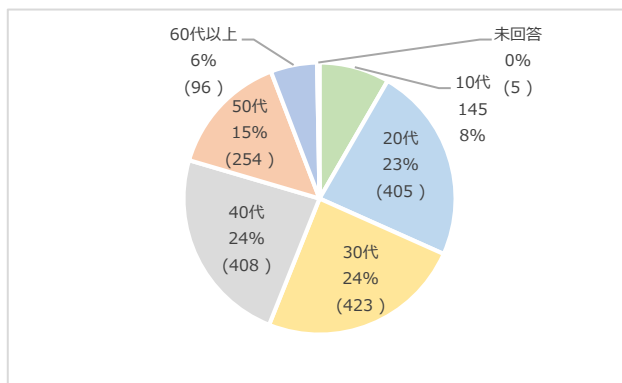
集計方法：出口で紙アンケート配布または、QR（ちば電子システム）の案内

有効回答数：1,736（内訳：紙アンケート 1,581、電子 155）

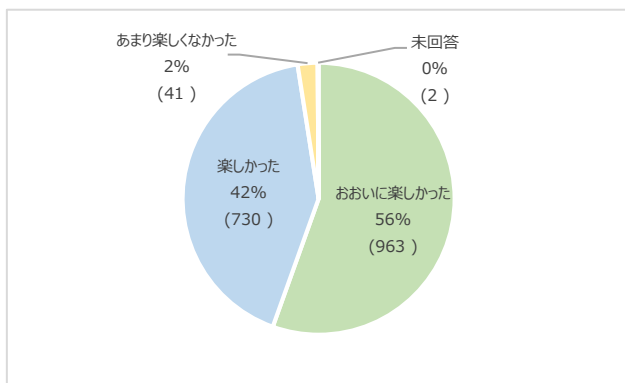
年代



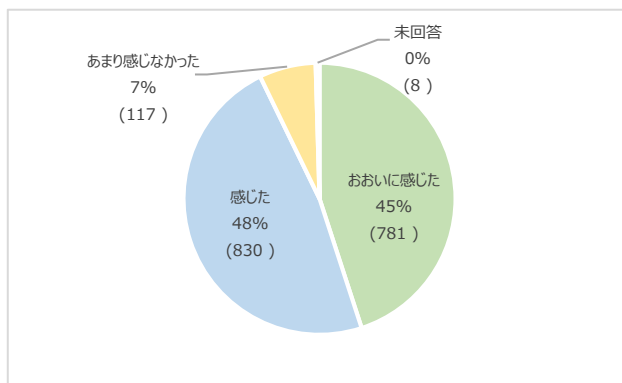
居住地



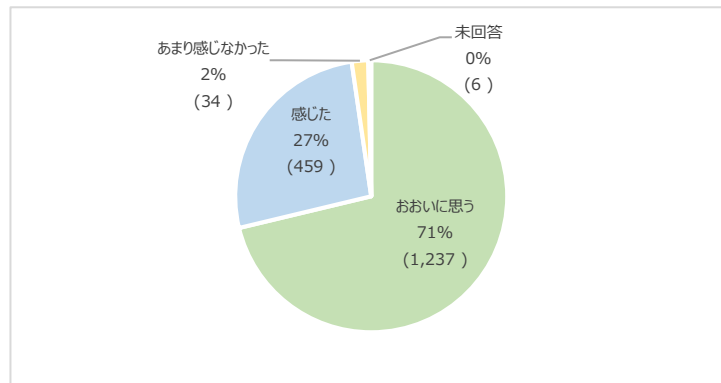
Q1 本展示をご覧になってお楽しみいただけましたか



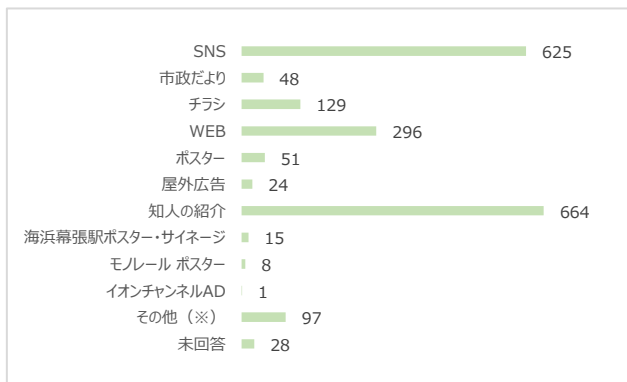
Q2 本展示の鑑賞を通して、新しい文化力を感じましたか



Q3 本展示のような取組みは、文化芸術を気軽に体験・鑑賞できる取組みだと思いませんか



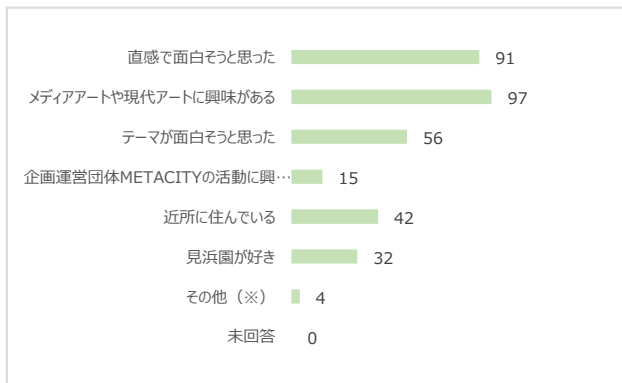
Q4 本展示を何で知りましたか（複数回答可）



【その他(※)】

通りがかった (29)、出展者の紹介 (18)、SNS (16)、
家族の紹介 (13)、テレビ (8)、ラジオ (7)、バス広告 (2)、
ポスター (2)、友人 (1)、雑誌 (1)

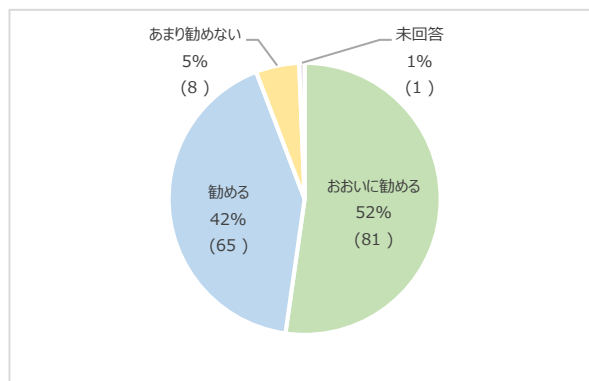
Q5 本展示のどこに魅力を感じましたか（複数回答可）（電子のみ）



【その他(※)】

- ・魅力はなかった
- ・コロナ禍で出かけられない中芸術に触れたい
- ・テーマと日本庭園というロケーションの融合
- ・都市とアートとの関係を事業開発で役立てたい

Q6 本展を知人・友人などに勧めますか（電子のみ）



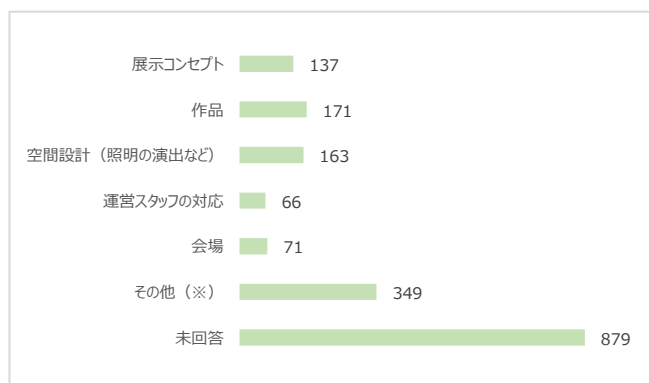
Q7 本展示の良かった点を教えてください（複数回答可）（電子のみ）



【その他（※）】

夜との関係性を活かした作品がよかった／庭園という環境に応じた実験的な作品が多くとても刺激的／自然とつながっている 人工とつながっている／自然と人工、アートとテクノロジー、未来と過去を行ったり来たりできた／素敵な時間ありがとう／会場／作品の量と質／作品制作者の皆さんと話ができ、発想やコンセプトに直に触れられるのは貴重な体験／非常に刺激の内容／関野らん／庭園と作品があいまって雰囲気良かった。スタッフの説明良かった／天気もバッチグー／アーティスト本人から話を聞いたこと／Ray Kunimoto 作品がとても素敵。いつまでも座ってあの音と照明をみていたかった。夜間に開催するのにふさわしい作品／小箱を運ぶ参加型は特に印象に残った／無料／全て良かった／音の演出が強く印象に残った／広報／クーラーが効いていたりとにかくよかった／テーマも素晴らしく美しかった。また次の作品も楽しみ／動線の作り方もすばらしい／スタッフ・参加する方々の楽しい雰囲気／予約がシンプルにとれた／無料なので参加しやすい／茶室／個人のフィクションから都市全体のフィクションへ発展していく構成が素晴らしい／That's brand new feeling!／作品のアイデア／夜の開催／ライトを持って歩く所が良かった／田中さんの音とAIの映像展示がすごく良かった／この時期に開催すること自体が本当に良かったと思う／舞台と作品の当て方が面白かった／夜開催／作家が作品の場所にいることで、説明を聞けたり、お話できたのが嬉しかった／作品説明／満足いく内容／説明がある展示はわかりやすくて良い

Q8 本展示の改善点を教えてください（複数回答可）（電子のみ）

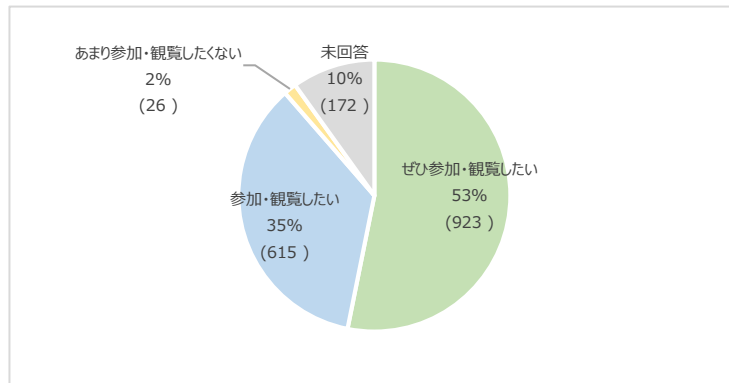


【その他（※）】

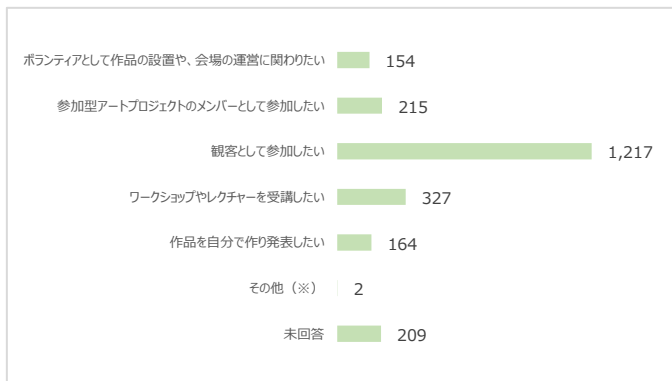
解説が分かりづらい（55）／会場内が暗い（30）／虫が多い（20）／順路が分かりづらい（17）／混雑（11）／PR不足（11）／時間帯（10）／キャプションの文字が読みづらい・小さい（9）／アクセス（7）／開催時期（7）／鑑賞時間の長さ（6）／有料化（6）／キャプションの位置（5）／PR方法（4）／開催期間が短い（4）／日中も開催してほしい（4）／運営スタッフの説明（3）／足元が悪い（2）／会場内にトイレが無い（2）／作家と話す機会が欲しい（2）／技術・アイデア・表現には達していない／音の作品について説明が見られなかったのが残念／新しいアートを今後もみせてほしい、子供がアートにふれる機会がすくないのでそのような場にもしてほしい／業者っぽい人がいて話し込んでいた／キャプションに英語があってもよい／体験型があると尚楽しい／有料で金をかけた作品があってもよい／順路形式以外で自由に楽しみたい／冬にもやってほしい／もう少し観たい、個々を増設／全部／グッズ販売／行けるスペースを増やしてほしい／コンセプトに合う作品と合わない作品の差がある／会場に合わせた事前アナウンス／夏以外でも見

てみたい／音が響き過ぎ／音の作品へのゲストアランド／もっとサイトスペシフィックでもよかった／もっと数があってもよかった
 ／もっと見たかった／家族連れ（子連れ）OKの時間を作ってくれると気が楽／WEB／展示コンセプトと作品・会場の連続性／手指アルコール消毒はもっとたっぷりかける／時間・人数・グループでの参加のよし悪し／出展思想／移動方法／パンフレットをうちわにしてほしい／解説は音声録音でも良かった／周り（プール）がうるさい／東京の方でも実施してほしい／顔が見える角度で他の客に写真を撮られた／もっと多くの作品を観たい／この庭園でやる必然性が分からない作品があった。作品が庭園に不自然に介入していた印象を持つものがあった／作品そのものはいいが、こじんまりしすぎてしまっている／事後的に見せる仕組みがあると面白そう／予約／目が悪い人に不自由でした最後の作品を観てから、今まで見てきた作品まで戻れるといい／最初に展示全体のコンセプトを理解する導入が欲しかった／展示テーマに作家が無理やり合わせている感じや、そもそも作品のクオリティの低さを感じた／夜以外の面でやるとどう描くのが興味あり／作品横に水分補給用のペットボトルを置くのは避けた方が良い(熱中症対策の場合、身につけるか作品にから少し話した場所に置き場を設けるなど)配慮された方が良い／作品数はもう少し少なくとも良い／運営スタッフの解説が親切すぎる、想像させる余地があっても良い／ちょっと地味／タイトル

Q9 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、参加もしくは観覧をしたいと思いますか



Q10 千の葉の芸術祭が次回も開催される場合、どのような形で参加したいと思いますか（複数回答可）



【その他(※)】

- ・あまり抽象的かつ難解なものでなく、将来千葉はどうあるべきかなど問題提起とその計画
- ・多くの人に見てもらえるように SNS で広げたい。

Q11 次回の千の葉の芸術祭で、あなたが開催してほしいと思う文化芸術活動はどれですか（複数回答可）



【その他（※）】

メディアアート（3）／易しいもの（3）／何でも（2）／今回と同様（2）／どれも素晴らしいアイデア／場とのつながり／世に出てない方の発表の場／伝統的民芸作品／日本人のアイデンティティに関わる内容／海外の人の現代アート／照明の演出／アーティストが活躍できる場／花・草／映画祭

Q12 その他、千の葉の芸術祭や生態系へのジャックイン展についてご意見がございましたらご記載ください

【良かった点】

- ・後藤さんの説明がとても丁寧でよかった
- ・外で展示かつ夜に展示というのが新しかった 気持ちよかった
- ・こういう気軽に行ける展示会がもっと増えるとよいと思った。作品の説明してくれるスタッフさんがいて良かった。
- ・斬新ですばらしかった
- ・自然の中で感じられるアートでももしろかった
- ・日本庭園のコンセプトが良かった。
- ・期待をはるかに超えて面白かった。地元の芸術祭によく行くが、まるまるひとつくらいの充実度
- ・非常に良い取り組みと思う
- ・とてもユニークで有意義な空間展示だと思った。関係者の方々に敬意を表す
- ・場所と作品がマッチしていて面白かった
- ・空間含め最高！ノガミさんのよかった！
- ・無料ながらコンセプト、内容、ロケーションすべてよかった、今後はたのしみ
- ・観覧者と作者が話し合える場が作られているなどと思った。参加はしなかったが又聞きして面白かった
- ・コロナの中での開催ありがとう。未来について思う機会になった。アナログ、デジタル両方の作品が良かった
- ・無料で見られて驚き。内容、コンセプトとても充実していて、楽しかった
- ・16番が生態系へのジャックインと言われ、生態系という言葉そのものを考える良いきっかけになった
- ・楽しく体験できた
- ・とてもおもしろかった。毎年やってほしい
- ・新しい表現、テクニック、視点を学べた。新時代に取り組む若い方の表現に刺激を受け勇気づけられた。
- ・この作品が作られた過程をWEBで見られたらたのしい。完成シーンだけだと分かりきらないモノがあった
- ・来れて良かった
- ・りょうたさんの生け花など動きがある展示とくにおもしろかった！
- ・会場のポテンシャルを活かしていてとても良かった。夜開催もGOOD
- ・直接、P・テイストさんと話ができとても良かった
- ・とてもたのしかった！スタッフさんがやさしかった
- ・いろんなアーティストの方が在席されていて、直接楽しい話をしてくれたのでうれしかった。また会いたい一期一会…
- ・続けてがんばってほしい。
- ・とてもおもしろく、スタッフさんの対応がとても素敵

- ・コロナとオリンピックのせいでもったいなかった、すごく良い取り組み
- ・関野さんの Twitter で知った。場所もよく面白かった
- ・少し遠いけど都内からちょうどいい距離で、幕張周辺がわかると良かったなーと思いました
- ・興味深く拝見した。普段触れることのない現代アート (?) を体験できる機会でもよかった
- ・庭園の雰囲気と作品が合っていて良かった
- ・とてもよかった。いろんな場所でやってほしい
- ・次回はもう少し時間をかけて見る
- ・夜のイベントも楽しくて良い、次回も楽しみ
- ・ちょっと難解だったが、楽しめた
- ・大変楽しめた。スタッフさんも皆良い対応ありがとう！
- ・すてきな展示とても楽しかった。出来れば人が少ない時に見たい
- ・空間構成がとてもよかった
- ・日中の印象と夜の印象を上手に演出して庭園にメディアアートが溶け込んでいて良かった。素晴らしい
- ・スタッフの方の説明が丁寧で印象的。素敵だった！
- ・もっと暗い時間帯に再訪して幻想的な空間を楽しみたい
- ・久しぶりに直に芸術に触れ静かに味わう時が良かった。この空間と夜の時間と作品たちが作っているものが静かに心に響いた
- ・分からないことが多かったが来て良かった。若い方の取り組み方も拝見できて
- ・初参加、見浜園の中での開催良かった
- ・とても刺激的で楽しめた、METACITY 応援しています
- ・とてもコンセプトが興味深い展示、第 2 弾を期待
- ・ちょうど「ニューロマンサー」を読んでいたところだったため、大いに楽しめた
- ・身近にアートイベントが多く開催されると嬉しい
- ・野外での展示で虫に刺されたり、天候にも左右される会場で、親切に説明してくれたり、心地よい距離間の対応がうれしかった
- ・庭園で落ち着きながら作品が見れてよりしみじみした
- ・楽しかった。スタッフの方の対応がとても良かった。ありがとうございます。
- ・思った以上に面白かった。夏の夜、日本庭園、現代アート。この組み合わせが面白い
- ・夜の展示で集中できた。創造力が刺激された。五感をフル活用できた
- ・斬新すぎて芸術性が理解できなかったが、無料・夜の散歩・光という所が凡人には良く感じた。
- ・夕方からの涼しい中でこのような芸術に触れることができとても楽しかった。とてもステキ。またやってほしい。絶対来る
- ・涼しく見ることができ良かった
- ・不思議な体験ができて良かった
- ・所々スタッフさんが作品の解説を簡潔にしてくれて理解しやすかった
- ・感じる形のアートなら子供も触れることができ楽しく過ごせた
- ・面白かった、日本庭園が異空間に！
- ・スタッフの皆様の対応が素晴らしかった
- ・いろいろな配慮がなされていてとても良かった
- ・2024 年が「ニュー・ロマンサー」刊行 40 周年なので、チバシティで関連イベントをぜひ！！（日本 SF 大会など）
- ・素晴らしいロケーションと作品で感動した！
- ・とても良い活動。引き続き頑張ってもらいたい
- ・無料での開催は気軽に芸術に触れることができ良い

- ・日本の若い作家さんの新しい視点でインスパイアされるような作品が多く、見て面白かった
- ・とても楽しく見れた。アーティストの方の話を聞いたのも良かった
- ・新しい夢ができた。うれしい
- ・ぜひ今後もお願いしたい。素晴らしいワーク！
- ・楽しかった！想像しやすかった
- ・ストーリーがあってとても楽しめた。時間がもっとあればうれしい
- ・とても興味深いイベントで、ぜひまたこのようなイベントを開催してほしい
- ・想像させる、心を動かすという芸術の純粋な作品が楽しめて良かった
- ・作品のテーマと音と光が素晴らしかったし、考えさせられる時間をいただいた。灯籠はとても心に響いた
- ・見応えがあった
- ・夜の庭園が想像力をよりかきたててよかった
- ・作品に加えて会場が内容をブーストしている感じがしてとても面白かった
- ・幕張に初めて来たが、野外彫刻の多い楽しい街だった。会場の見浜園も駅前の雰囲気とは違った自然な場所で良かった
- ・遠藤さんが関わっているので見に来た。楽しかった
- ・貴重な機会をありがとうございます。スタッフの方が丁寧で作品をより楽しむことができた
- ・無料でこんな素晴らしいイベントをありがとうございます
- ・地元でこのようなイベントが行われてとてもうれしい、これからも続いて欲しい！！
- ・正直こんなに面白いとは思わなかった。後程個々のアーティストと作品について詳しく知りたい。会場の選択最高
- ・たのしかった。畳の上の水の音がした作品が良かった
- ・運営のみなさま、アーティストの方々、お疲れさまでした。大変刺激的だった
- ・自然とコンピューターの調和がとてもよかった
- ・五感で体感できる展示でとても親しみやすく楽しかった
- ・幕張でやることに意味を感じた
- ・庭園での展示構成がとても良かった
- ・会場がすごかった
- ・素晴らしい展示、また次回も楽しみ
- ・とてもエキサイティング、めっちゃくちゃ面白かった。また、真面目に生と死について考えさせられた
- ・千葉の文化レベルが上がってきてうれしい。WSや展示などたくさんやってほしい。とても良い展示で楽しかった
- ・遠くから見たとき、ライトアップされている展示がきれいに見えてすごくよかった
- ・Enjoy！！雰囲気とか明るさとかすごかった
- ・頭の中で常に平沢進が流れていた
- ・身近でアートを感じられて楽しかった
- ・夜の屋外の展覧会は初めて。子どもと共にとっても楽しめた
- ・説明がなければ分からないものもあったが、スタッフの方のおかげで理解した
- ・とても気持ちの良い場所だった
- ・暗くて怪しい自然の中を歩いて楽しかった
- ・様々な文化と融合していっておっ!と思えるものが年を重ねて増えていくといい
- ・場所も含めてとても良かった
- ・正直、美大の文化祭のようなものを想像していたが、とても良かった
- ・テクノロジーを活かした作品やビジュアライズが上手い作品があり勉強になった

- ・16番の作品は主張と表現が明確で現代美術における「考え方の提案」という面でとても面白かった
- ・雰囲気がとても良く、考えさせられるものが沢山あった
- ・これが無料とは感激した
- ・大変な状況の中、開催していただきありがとうございます。この季節、この場所で見られたことに価値があった
- ・最高だった!!
- ・自然と作品のコラボが良かった
- ・また来たいと思った
- ・千葉でこんな攻めた現代アートの展示が観られるとは思わなかった
- ・すごく素敵だった
- ・大変楽しめた。消毒などこまめなスタッフさんの対応が素晴らしかった
- ・もったいないので世の中が移動しやすくなったらまたお願いしたい。展示場所と合う作品が多く良かった
- ・作品がすべてきれい
- ・自然とアート作品のマッチングが良かった。スタッフも親切で行き届いている印象を受けた
- ・近くに住んでいるのでこのような文化事業は嬉しく思う
- ・近くでこのような素晴らしい企画を開催してくださりありがとうございます
- ・夜だったので涼しく過ごせたのが良かった。線香焚いていたのが好雰囲気
- ・11-14-15の並びがすごく良かった。それぞれが引き立てあい思慮が深まった
- ・非常に見応えがあり、色々と考えさせられる展示だった
- ・とても楽しく癒され日々の生活について考えさせられる内容
- ・水の音がきれいで心がきれいになった
- ・コロナでも安心して楽しめる素敵な企画で楽しかった
- ・知人の紹介で初めて知った。地元を活かした企画で良いと思う、また観たい
- ・年単位で見たいアーティストも多く、会期後どうなるか気になる
- ・作品・空間ともにとても素敵で癒された
- ・どの作品も感動させられた
- ・コンセプトを理解するのが難しかったが、分かるととても面白かった
- ・キュレーションが良かった。季節で印象が変わりそう。自身も展示してみたい
- ・お盆の時期に近く、夏・夜・光の演出でその気分が味わえた
- ・夜の庭園、周り的高層ビルが相まって作品との相乗効果を生み出していた
- ・期待していた以上に良かった
- ・深慮させられる素晴らしいものだった
- ・スタッフが親切でよかった
- ・日本中でアートといえば千葉になるとよい
- ・癒し・面白い考え方があり、良い刺激になった
- ・庭と作品のマッチング
- ・考えさせられた
- ・人工筋肉など?と思うようなコンセプトだけの様なものも多数あったが、全体的に夏の夜らしくて良かった
- ・芸術的で新しい世界を知ることができた
- ・あまり考える機会がなかった物に触れられていい体験ができた
- ・色々な音があって面白かった

- ・外出をずっと控えていたので、久しぶりの外出で楽しかった
- ・製作者の説明があるのがよかった。思いが伝わった
- ・夏の夜の庭園という舞台でそれぞれの作家さんの作品が深い感動を与えてくれた。素晴らしい企画
- ・夜の日本庭園を舞台に歩きながら作品を観る・感じる事ができてとても楽しく拝見。作家から直接話を聞いて理解も深まった
- ・1つ1つの作品に力がありとても楽しかった
- ・幕張の日本庭園というチョイスが面白い
- ・見浜園良かった
- ・最近の展示で断トツで良かった。コロナで狭い空間に閉じこもることが多かったので庭園を散歩しながらアートが観られて良かった
- ・すばらしい発想、発見、思いに感動した
- ・感染対策が徹底されていて安心して見学できた
- ・田中堅大さんの作品を観に来た。石川将也さんの作品もとても感動した
- ・展示タイトルがよかった
- ・現場の運営の方々の対応が素晴らしい。夜の庭園は素敵
- ・近場で無料で楽しいイベントを体験できてよかった、また参加したい
- ・素晴らしい作品を沢山観ることができた
- ・どれも新鮮で素晴らしかった
- ・スタッフが説明してくださり分かりやすかった、ライトアップもきれいで子どもでも楽しめた
- ・一つひとつの作品が面白くて深く見入ることができた。楽しかった
- ・スタッフの対応 good
- ・大変楽しめた、夜の鑑賞ができて良かった
- ・アーティストさん、作品ともに満足。夜の庭園の展示も新鮮
- ・すばらしい作品に親子で触れられて楽しめた
- ・素晴らしい試み
- ・足場が暗かったが、とても良い体験。都市の中の自然を体感できた。若手アーティストにとって良い機会
- ・とても各作品にそれぞれのテーマへの解釈があり、技術解釈の前の「直感的に共感を引き出す」という点が素晴らしい
- ・日本庭園を舞台に、Meta的な濃い時間を過ごすことができ、リフレッシュした
- ・個人的には水琴窟とサウンドスケープが良かった
- ・子供達も直感的に楽しかったみたい
- ・普段芸術に触れる機会が少ないので、このような機会を得られてとても良かった
- ・場所も作品コンセプトも、驚くほど面白かった
- ・ぜひ友人に勧める
- ・無料のクオリティではない
- ・幕張は幕張メッセのイメージしかなかったが、こんな素敵な庭園や文化活動していたとは驚き
- ・スタッフのみなさんの対応もとても親切だった
- ・とても素晴らしいので、毎年、見浜園で、ぜひぜひ開催してほしい
- ・大変面白い展示会。空間の使い方や夜の時間帯を使ったことなどが効果的な影響があった。metacityのこれからの活動も楽しみ
- ・千葉でこのようなイベントが開催されることをほんとに嬉しく思う。また、引き続き開催されることを願う
- ・暗い中たくさんの方がいらしていて良い意味で驚き。興味のある方が作家さんにコンセプトなどの話を聞いているのをみて、一緒に聞きたいなーと羨ましく見てた。スタッフの方は皆さん親切で感じ良く素敵
- ・照明や演出がとてもすてき

- ・ものごとを、みる視点が広がった気がする
- ・虫がとて多かったので入り口での虫除けスプレーは有難いな、と思った
- ・期待以上
- ・コロナ禍でもこのようなイベントを開催くださり感謝
- ・見浜園が素敵だったし、あの日本庭園でアート展示を許容する市側も素晴らしい
- ・日本庭園とテクノロジーという異色の組み合わせが面白く、とても素敵な時間を過ごせた
- ・コンセプト、作品そしてロケーションが非常によく考えられていると思った。右脳も左脳も満足する展示だと感心した
- ・家でゆっくり解説を再読しようと思う
- ・素晴らしかった。スタッフの対応も、作品説明・誘導がしっかりできていて運営が事務局の優秀さを感じた
- ・各作品のセレクトのバランスも良かったと思う
- ・動線、会場構成、特に照明演出が日本庭園の会場特性を引き出していて、ここだけの独自の体験性になっていたのが良かった
- ・ぜひスケールアップして継続して欲しい
- ・自治体予算の中でこういう実験的な取り組み・展示に挑戦することがこの先の文化をつくることにつながると実感した
- ・夜の庭園で涼しく、非常に知的で心が潤う時間を過ごすことができた
- ・スタッフの方もすごく丁寧に対応してくれて、素晴らしかった
- ・見浜園には定期的に伺っているが、この展示はたまたま前日に知った。参加できて良かった
- ・生態系というタイトル、場所は見浜園なので、動植物とデジタルアートの融合をイメージしていたが、夜の空気、光、音、気配、五感を通して人間の生態そのものを感じることで、最後の多層都市幕張市で集団としての生を織り交ぜたことで現実を見せられた気がした
- ・普段、全く関わりを持たない層の人がここに来たことで何かに気づくこと、または全く気づかないことを重ねることが大事
- ・入場料無料で参加した私もこのプロトタイプに組み込まれているのかなと感じた
- ・また機会があったらぜひ参加してみたい
- ・期待以上の内容で非常に良かった。見浜園を夜に開放するというアイデアも斬新で良い。またやってほしい
- ・こういった試みはおそらく千葉では市原以外なかったので、また立地を生かして開催してほしい
- ・思った以上に良かった！
- ・新しい芸術を見せていただき、刺激になった

【改善点など】

- ・アンケートは両面でもよかった
- ・能をお願いしたい
- ・もう少しガイドがわかりやすかったらうれしい（作品の意図）
- ・むずかしかった 理屈っぽかった
- ・もっとセールスしてほしい
- ・気軽に体験・鑑賞という点では解説はもっとある方がよい
- ・生態系ヘジャックインとはどういう体験なのかがもっと分かりやすくと良かった
- ・現代アートは説明が必要なのか？
- ・来場まで全く作品がわからなかったが、これだけしっかりやられるなら少しもったいないように思った（思ったよりよかった）
- ・公園の中を生かした展示がよかった
- ・コロナ対応で仕方がなかったのかもしれないが、近所に住む人が気軽に入れるよう申込みしなければ入れないのは敷居が高い
- ・夕方から夜にかけてだったため、最初の方に戻りやすいと良かった。戻る順路があると嬉しい
- ・見浜園の立地を考えれば、ぜひ古典芸能の開催を

- ・もう少し華やかな色音があり、屋外ならではのアートが見たかった
- ・次回があれば、より鋭くとがった作品を体験できることを期待
- ・通路を歩きやすい様照明等を工夫して欲しい
- ・日本庭園という舞台芸術と作品の完成性をキャプションでももう少し補足して欲しい
- ・試みとしてはいいと思うが、会場が広く暗い中なので作品にももう少しインパクトが欲しい
- ・実験的で少し難解
- ・人が誘導するタイプの展示にしてはスタッフさんの案内があまり良くなかった。場所も暗くて土日は人が多すぎる
- ・テーマが難しい気がした。「千葉ならではの」地方創生的な身近な要素があるとより楽しくなると思う
- ・個人的には分かりやすいものが良い
- ・難しかった。せっかく日本庭園で夜開催なので日本庭園をもっと使って作品をつくってほしい。ライティングでみせてほしい
- ・説明、解説が難解
- ・難しかった
- ・少しテーマが難しいように思った
- ・芸術祭をなぜ開催するのか、なぜ千葉でこのコンセプトなのか分かりにくいし、あまり納得できない。次回開催も望まない
- ・WEBの感じをもう少し改善してスケール感を大きくしてほしい
- ・もう少しポピュラーな展示・分かりやすい展示を取り入れても良かった
- ・写真映えするような作品がもっとほしい(有料でも可)
- ・動物の生態系の作品をもっと出してほしい
- ・アーティストによる作品の話も聞きたい
- ・雨が降ったら大変だと思った
- ・1グループ2、3人にした方が鑑賞しやすい
- ・鑑賞中にずっと説明をし続けるスタッフがいて大変妨げになった。静かに味わいたい作品だったので大変残念
- ・何となく物足りなかった
- ・作品の説明はスタッフに口頭ですて頂く必要はない気がした
- ・ジャックインの意味を説明してほしい
- ・何を訴えているのか分かりやすい作品を増やしてほしい
- ・庭園の存在がもっと生きるといいと思った
- ・雫の音を聴く作品で部屋が涼しいので寛いでくつろいでしゃべったり写真を撮るシャッター音ばかりが聞こえてうるさくて残念
- ・オリンピック期間中で外国人の来園も多いと思うが、英語案内が全く見られなかったのは残念。隣のホテルのプールの音も残念
- ・作った方のお話を聞きたかった
- ・もう少し期間が長ければ良かった。WEBの感想フォームが欲しかった
- ・自分も参加できる作品があるといい
- ・もっと長期間にするとより多くの人に素晴らしさが伝わる
- ・もっと周知した方が良い
- ・アルコールのワンプッシュの量が少なかった
- ・内容が難しいため、よくコンセプトを理解して見られたら良い
- ・もっと多くの人に見てもらいたい。PRをもっとしてほしい
- ・スタッフが少し多すぎ、丁寧に声かけてくれすぎる。「いらっしゃいませ」とかはあまり展示にふさわしくなく気になった(作品解説してくれるのはよい)
- ・優秀なアーティストの皆さんというのはわかるが、大衆的ではない

- ・説明、パンフレットも内容が一般市民にはわかりづらかった
- ・宣伝活動が足りない
- ・茶の湯との関連性がいまちよくわからない
- ・素人でもわかりやすい展示法で、みんなが楽しめるものが芸術祭だと思う
- ・少し物足りなさを感じた
- ・瀬戸内国際芸術祭やあいちトリエンナーレは素直に楽しめる
- ・経路が分かりづらく作品をいくつか見逃した気がする
- ・政治性がなくてつまらなかった
- ・展覧会のテーマと作品コンセプトの不一致を覚える作品が多かった
- ・昼間の伝統芸能の鑑賞の抽選申込が電話のみだったので、ネットでも申込ができると嬉しい
- ・どのような企画なのか最初は不明で、行ってみても不明。説明を読んでも不明
- ・出口の辺りでようやく新進気鋭アーティストによるプロトタイピングなのだとようやく理解
- ・かなりアングラ、難解アート笑でもわかりやすく説明することだけが正しいわけではなく、解釈は人それぞれでよく、面白い、面白く・
ないの評価が目的ではないと自分なりに理解した
- ・ひとつ気になった点として、ライトアップする作品が多かったため 19 時以降に入園したが、作品によっては暗くて見浜園での展示の意味を見失うものもあったように思えた。もちろん作品自体の魅力は失われていないが、相乗効果が期待されるロケーション故に、ものによっては相乗効果が得られないかな…と思われたものも。
- ・難しい
- ・とても面白い着眼点の作品ばかりで面白くて良かったが、暗い中で解説を読み、知らない言葉や用語がたくさん出てくるので、作品を理解することが難しいと感じた。誰にでもわかりやすい言葉で解説があるとよいと感じた。家族で観覧したが、子どもに向けての優しいパンフレットがあると嬉しい。暗い中で、密を避けながら、小さなボードに書かれた解説は見にくいと感じた

9. 総括

千の葉の芸術祭は、開催目的を『市制 100 周年を迎えたことを契機に、本市の「自然や歴史に根差した固有の文化力」と「技術の進展によって 生まれた新しい文化力」を市民が再認識できる。』『「文化芸術の間口を広く、敷居を無くし、日常的な活動へと広げる取組」の機会を創出する。』としながら、市制 100 周年事業として、また、文化プログラムとして、いかに本市の魅力を広く発信し、市民に市の魅力を再発見してもらえるかが課題であった。

そのため、単に作品を展示することにとどまらず、固有の文化力として、千葉市美術館のほか、歴史ある文化財や緑豊かな千葉公園などの施設を写真展の展示会場に活用し、写真展の出品作家は市民や市内の様々な風景を被写体として作品を制作した。また、市内の歴史ある文化芸術団体による伝統文化の鑑賞体験の場を設けた。

新しい文化力として、幕張新都心を中心に活躍する新進気鋭のグループと連携し、メディア芸術を含む現代のアート作品を夜の日本庭園で展示（以下、生態系へのジャックイン）することで、幕張新都心の新たな魅力も発信した。

あわせて、第 2 次千葉市文化芸術振興計画の戦略的視点「鑑賞型から活動・行動型へ」も踏まえ、文化芸術を日常的な活動へと広げる取組として、子どもから大人までを対象とした体験創造ワークショップ（以下、ななめな学校）を開催した。

鑑賞された方や参加した方からは、P.31 からのアンケート結果にあるように、好意的な意見や感想を多数いただいたところである。

また、新型コロナウイルスが感染拡大するなかでの開催であったが、各会場でしっかりとした感染症対策を行い、結果、クラスター等が発生しなかったことも大いに評価できる点と考える。

以下、芸術祭全体、広報や運営について、芸術祭を総括する。

- ・ 芸術祭の鑑賞者が市内外から多く訪れることも重要であるが、市民が芸術祭を身近に感じて気軽に鑑賞・参加体験できることも同じく重要であると考え。そのため、文化芸術活動に精通したディレクターの配置や、これまでも市の文化芸術の振興に貢献してきた人たちや諸団体に関わってもらうことで、千葉市の歴史や現状を踏まえた事業とすることができ、市民の方々が鑑賞・参加体験しやすい芸術祭となった。
- ・ 市にゆかりのある写真作家やアーティスト（千葉市出身や芸術文化新人賞受賞）や文化芸術団体が参加することで、市の文化芸術の人材の豊かさやその魅力を発信することができた。
- ・ 写真芸術展（以下、CHIBA FOTO）出品作品には街中で出会った市民に被写体として参加いただき、今の千葉市民の自然な姿、魅力が発信できた。また、市政だよりで被写体の公募を行ったり、学校の協力のもと児童・生徒たちを被写体とするなど、CHIBA FOTO を鑑賞だけでなく芸術体験への参加の場としても位置付けることができた。
- ・ CHIBA FOTO 出品作家の独自の視点で、市内の様々な風景、光景を作品で表現することや、展示場所を作家の作品にふさわしい空間に演出することで、普段見慣れた千葉市の姿を新鮮で魅力的なものとして改めて感じてもらうことができた。
- ・ ななめな学校は、初めて一定期間連続して行うワークショップを開催する試みを行い、これまでよりも授業の内容を掘り下げて展開することができた。また、最後に一般公開の成果発表会を行うことで、ワークショップに参加した方々に限らず、市の文化芸術の取組を広く知ってもらうきっかけにもなった。
- ・ 新しい文化の発信では、生態系へのジャックイン展で新進気鋭の若手アーティストを起用したことで、海浜幕張の新しい魅力を発信すると共に、多くの若い世代の鑑賞者の参加を実現することができた。
- ・ 文化振興課が所管する施設以外の公共施設で作品を展示することで、多くの方がその施設を初めて訪れるきっかけと

なり、その施設の空間的魅力などを市の魅力として発信できた。また、普段は展示場所ではない施設や空間を、その魅力を活かす形で展示会場としたり、幕張新都心の日本庭園で夜間に鑑賞イベントを行うなど、公共施設の新たな活用方法も提示することができた。

- ・ 生態系へのジャックイン展では、海浜幕張の近隣に住む市民にスタッフとして参加を呼び掛けたところ、予想以上の数多くの申込があり、文化芸術を通して、地域のつながりの形成にも貢献できた。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、メディア媒体への積極的な働きかけを行わなかったにもかかわらず、芸術祭の内容について多くのメディアに関心を持ってもらい、多数の取材やメディア掲載を行ってもらうことができた。
- ・ 感染拡大防止のため、芸術祭の会期中に街中で目立った広報はできなかったが、芸術祭のロゴが掲載された事業ごとの周知チラシ等を配架したり、芸術祭ののぼり旗を各会場に掲示するなどにより、約1か月半の会期中、芸術祭として一体感が出せた。

一方で検討すべき点は以下のとおりである。

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により県内外への積極的な広報を縮小せざるを得なかったが、今後は、市内に限らず県内外からの集客も目的に広報を行う必要がある。
また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、市内の多数の民間施設を会場として活用することを見送った結果、民間の展示会場として協力を得られ、活用させてもらった施設は、そごう千葉店のみであった。市内の商業施設等の民間施設を活用することは、市内の賑わいの創出のきっかけとなり得ることから、今後は、公共施設以外の様々な民間施設を芸術祭の会場として活用することの検討を戦略的に行う必要がある。
さらに、民間施設内で芸術祭を展開することで、広報効果が高まることが期待されることから、例えば飲食店であればコラボメニューの展開や物販店であればグッズ展開などを連携して行えば、市と民間施設の双方のメリットが高まり、来場の動機ともなりうると考えられるため、民間施設との連携を積極的に検討する必要がある。その点では、所管課の文化振興課に限らず、産業振興の観点から経済部などの事業との関わりも重要となるように思われる。
- ・ CHIBA FOTO、ななめな学校、伝統文化の発信事業と生態系へのジャックイン展において、CHIBA FOTOとななめな学校は出品作家がワークショップ講師として参加するなど、横断的に連携が図れていたが、伝統文化の発信と生態系へのジャックイン展では他と連携を図ることができなかった。今回はCHIBA FOTOから生態系へのジャックイン展まで様々な事業が開催されたことは多くの人に興味を持ってもらうきっかけとなったが、1つの芸術祭としての取り組みである印象付けが薄くなってしまった。今後は、芸術祭としてどのような事業を行うかどうかを検討した上で、複数のジャンルの事業を行うのであれば、芸術祭全体としてテーマを設けたり、それぞれがどのように連携を図るのかなどを事前に検討をする必要がある。
- ・ 今後、芸術祭を定期開催するなら、開催目的を整理した上で、開催間隔や開催場所など、どのように取り組んでいくのかなどを、十分に検討をする必要がある。
- ・ 事務局が文化振興課であったため、各アーティストや会場の調整などの運營業務を課の業務として担っていた。課としての他の通常業務もあり、芸術祭の業務が集中する時期にはかなり逼迫した状況となってしまったため、次回は運營業務もまた広報業務と同じように外部に委託するか、市の戦略としてより広がりのある芸術祭とするならば、文化振興財団等に芸術祭事務局を常設する検討を行う必要がある。
- ・ 市民スタッフの組織づくりができなかったため、芸術祭を継続して開催するなら、市民スタッフの組織を常設化し、スタッフとして参加してくれた市民の方に次回開催まで続けて興味を持ってもらう取組を検討すると共に、そこから運営に関われる市民を育成していく必要がある。

- ・ 今回は 文化プログラムとしての開催であったことから、夏期に行うこととなったが、各会場を楽しみながら移動しやすい時期を考えると、別の最適な時期を検討する必要がある。

以上が、千の葉の芸術祭の総括となる。今回の芸術祭は「千葉市には何も特徴が無い」という発想から、市の魅力をいかに発信できるか、試行錯誤の中で開催したものである。コロナ禍でありながら、多くの来場者・参加者の方々に市の魅力を発信でき、一定の成果は得ることができたと考える。

今後は、今回の芸術祭で改めて確信した市の魅力をどのように発展させて、どのような形で市民の皆様にお届けするのかを、上記の課題に取り組みながら検討を行っていく必要があると考える。